

|                 |  |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
|-----------------|--|------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|------|
| 科目名             | 総合日本語Ⅲ   |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
| 科目名(英)          | General Japanese Ⅲ   |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
| 単位数             | 8単位  | 時間数                                | 120時間 | 担当者                                 | 河原田・田中                              |   |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期                               | 前期    | 担当者実務経験                             |                                     |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
| 授業概要            | より複雑な文の構造を理解し、適切な接続により、まとまった内容の文でやり取りできるように、言葉の役割、健康管理など日常生活と深く関わる問題、など、テーマに掲げた問題点を学習者と共有し、「読む」「話す」「聞く」「書く」の4技能の運用力・応用力を伸ばす。 |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △                              | 実習:   | 実技:                                 | ※ 主たる方法:○ その他:△                     |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能                               | 運動技能  | 態度意欲                                | その他                                 | 目標  |      |
|                 | ○  |                                    |       |                                     |                                     | 日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、感想を述べるができる。       |      |
|                 |  | ○                                  |       |                                     |                                     | 異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。   |      |
|                 |  |                                    |       | ○                                   |                                     | より複雑な文の構造を理解し、適切な接続により、まとまった内容の文でやり取りできる。 |      |
|                 | ○  | ○                                  |       | ○                                   |                                     | 文章の構造を理解し、まとまった内容の文章を読み書きできる。             |      |
| ○               | ○  |                                    |       |                                     | 発話意図、場面などに合わせて適切に表現を使い分けることができる     |   |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 松田浩志、亀田美保〔著〕『テーマ別 上級で学ぶ日本語〈三訂版〉』研究社KENKYUSHA、2016年   |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容                            |       |                                     | 授業外学修指示                             |   |      |
|                 | 1~4  | 第1課 しる <初めての雪> 「物を知る」とは、どういうことか。   |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 5~8  | 第2課 いたわる <春の一日> 「思いやり」に欠ける現代社会について |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 9~12   | 第3課 ならう <そば屋の先生> 外国語を学ぶ姿勢について      |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 13~17  | 第4課 よみとる <記事の裏側> 現代の報道について         |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 18~21  | 第5課 さばく <裁判員のもやもや> 法律について          |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 22~25  | 第6課 うやまう <ガイドさんの宗教> 宗教について         |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 26~29  | 第7課 ふせぐ <並ぶ文化> 安全な社会とは             |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 30~33  | 第8課 もてなす <ローソクの島> おもてなしとは          |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 34~37  | 第9課 よびかける <一茶の目> 無関心社会について         |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 38~41  | 第10課 えらぶ <自らの選択> 生きるとは             |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 42~45  | 第11課 いかす <もったいない話> 「使い捨て」時代について    |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 46~49  | 第12課 つなぐ <折り鶴> 異文化をどう理解するか         |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 50~53  | 第13課 たのしむ <なりわい> 仕事とは              |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
|                 | 54~57  | 第14課 きたえる <健康な社会> 健康志向社会が目指すもの     |       |                                     | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |   |      |
| 58~60           | 第15課 いきる <ひとつの地球> 平和とは   |                                    |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間) |                                     |   |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。         |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
|                 |  | 言語情報                               | 知的技能  | 運動技能                                | 態度・意欲                               | その他                                       | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)   | ○                                  | ○     |                                     |                                     |   | 50%  |
|                 | 宿題・レポート  | ○                                  | ○     |                                     | ○                                   |   | 50%  |
|                 |  |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
|                 |  |                                    |       |                                     |                                     |   |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること  |                                    |       |                                     |                                     |   |      |

|                 |  |   |      |         |                 |                                      |     |      |
|-----------------|--|---|------|---------|-----------------|--------------------------------------|-----|------|
| 科目名             | ビジネス日本語B   |   |      |         |                 |                                      |     |      |
| 科目名(英)          | Business Japanese B  |   |      |         |                 |                                      |     |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数   | 40時間 | 担当者     | 河原田 純子          |                                      |     |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期  | 前期   | 担当者実務経験 |                 |                                      |     |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |   |      |         |                 |                                      |     |      |
| 授業概要            | ビジネスで使われる日本語の表現を学ぶと同時に、日本企業で働く際に必要とされる習慣やマナー、入社後に遭遇するであろう異文化間の問題とそれを解決する策に至るまで幅広く学習する。 |   |      |         |                 |                                      |     |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |                                      |     |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能  | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                   |     |      |
|                 | ○  |   |      | ○       |                 | 就職活動を成功させるための基本的な知識で、面接時に述べることができる   |     |      |
|                 |  | ○   |      |         |                 | 日本企業で求められる日本に関する基本的な知識を応用することができる    |     |      |
|                 | ○  |   |      |         |                 | 社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方を説明することができる |     |      |
|                 |  |   |      | ○       |                 | 即座に役立つビジネス場面での日本語でコミュニケーションをとることができる |     |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 長沼スクール 『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』 国書刊行会 2018年   |   |      |         |                 |                                      |     |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容   |      |         |                 | 授業外学修指示                              |     |      |
|                 | 1・2  | 就活能力 自己紹介／自己分析<br>就活能力 自己紹介／自己分析 発表   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 3・4  | 就活能力 面接の受け方<br>就活能力 面接の受け方 集団面接実施   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 5・6  | 社会文化能力 異文化理解／日本の地理<br>社会文化能力 異文化理解／日本の地理 レポート作成   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 7・8  | 社会人基礎力<br>社会人基礎力 レポート作成   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 9・10   | チームビルディング   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 11   | チームビルディング   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 12   | 報告・連絡・相談  |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 13   | プレゼンテーション   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 14   | 仕事の能力 敬語／挨拶   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 15   | 敬語／挨拶 ロールプレイ  |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 16   | 仕事の能力 電話 受ける／かける／アポイントを取る   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 17   | 仕事の能力 電話 受ける／かける／アポイントを取る ペア発表  |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 18   | 仕事の能力 訪問  |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 19   | 仕事の能力 会議 ケーススタディ①②  |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 20   | 仕事の能力 ビジネスメール   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(1時間)       |     |      |
|                 | 評価方法   | (1)宿題・レポート提出 (2)グループワーク時の発言<br>以上を下記の観点・割合で評価する<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |      |         |                 |                                      |     |      |
|                 |  |   | 言語情報 | 知的技能    | 運動技能            | 態度・意欲                                | その他 | 評価割合 |
|                 |  | 宿題・レポート   | ○    | ○       |                 |                                      |     | 50%  |
|                 |  | グループワーク時の発言   | ○    | ○       |                 | ◎                                    |     | 50%  |
|                 |  |   |      |         |                 |                                      |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |                                      |     |      |
| 履修上の注意          | 宿題・レポートを必ず提出すること   |   |      |         |                 |                                      |     |      |

|                 |  |                                       |      |         |                          |                                    |      |
|-----------------|--|---------------------------------------|------|---------|--------------------------|------------------------------------|------|
| 科目名             | 日本語試験対策B   |                                       |      |         |                          |                                    |      |
| 科目名(英)          | Strategy for paasing JLPT B  |                                       |      |         |                          |                                    |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数                                   | 40時間 | 担当者     | 河原田 純子                   |                                    |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期                                  | 前期   | 担当者実務経験 |                          |                                    |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |                                       |      |         |                          |                                    |      |
| 授業概要            | 日本語能力試験N1に合格するために、その読解・聴解力のスキルアップを目指す。<br>試験に出題される問題をパターンに分けて、その攻略方法を学ぶ。<br>また、言語知識に関する問題に多く触れ、総合的な実践力を養う。                                 |                                       |      |         |                          |                                    |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △                                 | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△          |                                    |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能                                  | 運動技能 | 態度意欲    | その他                      | 目標                                 |      |
|                 | ○  | ○                                     |      |         |                          | 出題パターンに応じ、スキミングとスキヤニングを使い分けることができる |      |
|                 |  | ○                                     |      |         |                          | 出題パターンに応じた認知・メタ認知ストラテジーを適用することができる |      |
|                 |  |                                       |      |         |                          |                                    |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 氏原 庸子 著岡本 牧子 著『日本語能力試験N1聴解必修パターン』Jリサーチ出版、2015年<br>佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめN1読解』アスク出版、2010年<br>松岡龍美(著)『絶対合格! 日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解』アスク出版、2011年 |                                       |      |         |                          |                                    |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容                               |      |         |                          | 授業外学修指示                            |      |
|                 | 1  | 日本語能力試験N1聴解必修パターン ガイダンス               |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 2  | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 模擬問題                |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 3  | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 解説                  |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 4  | 日本語能力試験徹底トレーニングN1聴解 聴解 対策編 第1章 課題理解   |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 5  | 日本語能力試験徹底トレーニングN1聴解 聴解 対策編 第2章 ポイント理解 |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 6  | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 模擬問題                |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 7  | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 解説                  |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 8  | 日本語総まとめN1読解 読解実力テスト                   |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 9  | 日本語総まとめN1読解 解説                        |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 10   | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 模擬問題                |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 11   | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 解説                  |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 12   | 日本語総まとめN1読解 読解実力テスト                   |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 13   | 日本語総まとめN1読解 解説                        |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 14   | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 模擬問題                |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 15   | 日本語能力試験N1聴解必修パターン 解説                  |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 16   | 日本語総まとめN1読解 読解実力テスト                   |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 17   | 日本語総まとめN1読解 解説                        |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 18   | 絶対合格! 日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解 模擬試験     |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
|                 | 19   | 絶対合格! 日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解 模擬試験     |      |         |                          | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間)           |      |
| 20              | 絶対合格! 日本語能力試験 徹底トレーニング N1 聴解 模擬試験  |                                       |      |         | N1文字語彙・文法の練習問題をやること(1時間) |                                    |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。                        |                                       |      |         |                          |                                    |      |
|                 |  | 言語情報                                  | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                    | その他                                | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)   | ○                                     | ◎    |         | ◎                        |                                    | 50%  |
|                 | 小テスト   |                                       | ◎    |         | ◎                        |                                    | 50%  |
|                 |  |                                       |      |         |                          |                                    |      |
| 履修上の注意          | 宿題を必ずすること。   |                                       |      |         |                          |                                    |      |

| 科目名             | 総合日本語Ⅲ   |  |       |                           |   |     |      |
|-----------------|--|--|-------|---------------------------|---|-----|------|
| 科目名(英)          | General Japanese Ⅲ   |  |       |                           |   |     |      |
| 単位数             | 8単位  | 時間数  | 120時間 | 担当者                       | 河原田 純子  |     |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期   | 前期    | 担当者実務経験                   |   |     |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |  |       |                           |   |     |      |
| 授業概要            | 自分が持つ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語によるコミュニケーション能力として対話力を身につける。<br>また、できるだけ早い段階から段落を構成して(固まりで)話すことを目標とする。 |  |       |                           |   |     |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △  | 実習:   | 実技:                       | ※ 主たる方法:○ その他:△   |     |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能   | 運動技能  | 態度意欲                      | 目標  |     |      |
|                 |  | ○  |       | ○                         | 対話に必要なコミュニケーション手段を選ぶことができる                                  |     |      |
|                 |  | ○  |       |                           | 段落を構成して話すことができる   |     |      |
|                 | ○  | ○  |       |                           | 日本語能力試験N2～N1レベルの言語知識を理解し、運用することができる                         |     |      |
|                 |  |  |       |                           |   |     |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 嶋田和子 『できる日本語 初中級 本冊』アルク、2012年<br>嶋田和子 『できる日本語 中級 本冊』アルク、2013年  |  |       |                           |   |     |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容  |       |                           | 授業外学修指示   |     |      |
|                 | 1~4  | 13課 親の気持ち・子の気持ち:テレビや街中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、自分の経験を話したりできる。  |       |                           | 私の文法ノート(13課:p118-124)をやること(1時間)                             |     |      |
|                 | 5~8  | 14課 イベント・行事:周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、自分の国の行事や習慣について説明することができる。   |       |                           | 私の文法ノート(14課:p126-134)をやること(1時間)                             |     |      |
|                 | 9~12   | 15課 気になるニュース:気になるニュースや事柄について、自分なりに考えたことを周りの人に伝えて、やりとりすることができる。     |       |                           | 私の文法ノート(15課:p136-144)をやること(1時間)<br>13課~15課のテストをするので復習しておくこと |     |      |
|                 | 13~16  | L1 新たな出会い:新しい環境に自分から挑戦して、その環境で印象的に自己紹介することができる。                    |       |                           | ことば・表現ワークブック1課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 17~20  | L2 買い物:周りからいろいろな情報を得たり、自分の希望を伝えたりして、満足のいく食事や買い物をする事ができる。           |       |                           | ことば・表現ワークブック2課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 21~24  | L3 時間を生かす:これからの自分にとって有意義な過ごし方を考え、生活の工夫や時間の使い方などの情報をやりとりすることができる。   |       |                           | ことば・表現ワークブック3課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 25~28  | L4 地域を知って生活する:地域の暮らしに必要な情報を得て、快適な生活を送ることができる。                      |       |                           | ことば・表現ワークブック4課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 29~32  | L5 緊急事態!:予期しないことが起きたとき、適切な行動を取ることができる。また、緊急事態を経験したことについて話すことができる。  |       |                           | ことば・表現ワークブック5課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 33~36  | L6 地図を広げる:ふるさとや住んだことがある場所の地理や気候に合わせた生活を紹介して、お互いの理解を深めることができる。      |       |                           | ことば・表現ワークブック6課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 37~40  | L7 時代を超えた交流:異なる背景を持つ人々との交流を通して自分の視野を広げることができる。                     |       |                           | ことば・表現ワークブック7課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 41~44  | L8 気持ちを伝える:異なる背景を持つ人々との交流を通して自分の視野を広げることができる。                      |       |                           | ことば・表現ワークブック8課をやること(1時間)                                    |     |      |
|                 | 45~48  | L9 言葉を楽しむ:場面に応じて自分の気持ちをうまく伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりして、コミュニケーションを取ることができる。 |       |                           | ことば・表現ワークブック9課をやること(1時間)                                    |     |      |
| 49~52           | L10 日本語を旅する:日本の豊かな表現を知って、自分の国の良く似た表現と比べたり、紹介したりしながら、周りの人と楽しくコミュニケーションを取れる。   |  |       | ことば・表現ワークブック10課をやること(1時間) |   |     |      |
| 53~56           | L11 ライフスタイル:さまざまな人のライフスタイルを知って、自分自身の考えや経験と比較して意見を言う  |  |       | ことば・表現ワークブック11課をやること(1時間) |   |     |      |
| 57~60           | L12 心と体の健康:異なる環境において自分の目標を達成するために、心と体の健康を保って生活することができる。  |  |       | ことば・表現ワークブック12課をやること(1時間) |   |     |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。     |  |       |                           |   |     |      |
|                 |  | 言語情報   | 知的技能  | 運動技能                      | 態度・意欲   | その他 | 評価割合 |
|                 | 定期試験   | ◎  | ○     |                           |   |     | 50%  |
|                 | 宿題・レポート  | ◎  | ◎     |                           | ◎   |     | 50%  |
|                 |  |  |       |                           |   |     |      |
|                 |  |  |       |                           |   |     |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること  |  |       |                           |   |     |      |

|                 |   |                                   |      |         |                 |   |      |
|-----------------|---|-----------------------------------|------|---------|-----------------|---|------|
| 科目名             | 会話Ⅲ   |                                   |      |         |                 |   |      |
| 科目名(英)          | Japanese Conversation III   |                                   |      |         |                 |   |      |
| 単位数             | 2単位   | 時間数                               | 30時間 | 担当者     | 河原田 純子          |   |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                              | 前期   | 担当者実務経験 |                 |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                                   |      |         |                 |   |      |
| 授業概要            | 自分もつ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語によるコミュニケーション能力として対話力を身につける。また、できるだけ早い段階から段落を構成して(固まりで)話すことを目標とする。 |                                   |      |         |                 |   |      |
| 授業形式            | 講義: △   | 演習: ○                             | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                              | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                      |      |
|                 | ○   | ○                                 |      | ○       |                 | 学校・職場・地域などの生活場面において、日本語での自然な会話ができる      |      |
|                 | ○   |                                   |      |         |                 | 対人関係や物事の処理をスムーズに運ぶために役立つ日本事情を理解することができる |      |
|                 | ○   |                                   |      | ○       |                 | 面接試験やビジネスに対応できる敬語を正しく使うことができる           |      |
|                 |   |                                   |      |         |                 |   |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J:日本語で話す6週間』凡人社、2012年   |                                   |      |         |                 |   |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                           |      |         |                 | 授業外学修指示                                 |      |
|                 | 1   | Unit 12 意見を言う                     |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 2   | Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 3   | Unit 14 失敗談を話す                    |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 4   | Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える             |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 5   | Unit 16 うれしかった思い出を話す              |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 6   | Unit 17 赤いセーターを着ている人は誰ですか         |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 7   | Unit 18 謝る                        |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 8   | Unit 19 相手に忠告する                   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 9   | Unit 20 電話をする                     |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 10  | Unit 21 状況を聞く・答える                 |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 11  | Unit 22 日本を来てから変わったことについて話す       |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 12  | Unit 23 好きな場所を紹介する                |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 13  | Unit 24 経験に基づいてアドバイスする            |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 14  | Unit 25 相手に苦情・文句を言う               |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
|                 | 15  | Unit 30 問い合わせる                    |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)         |      |
| 評価方法            | (1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)定期試験(口頭)<br>以上を下記の観点・割合で評価する<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。      |                                   |      |         |                 |   |      |
|                 |   | 言語情報                              | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他                                     | 評価割合 |
|                 | 会話作成・発表   | ○                                 | ○    |         | ○               |   | 50%  |
|                 | 定期テスト(口頭)   | ○                                 | ○    |         | ○               |   | 50%  |
|                 |   |                                   |      |         |                 |   |      |
|                 |   |                                   |      |         |                 |   |      |
| 履修上の注意          | 授業終了後に、次のUnitの課題を配布するので、課題をしっかりと完成し、積極的に発話してください。   |                                   |      |         |                 |   |      |

|                 |  |  |      |         |                  |                               |      |
|-----------------|--|--|------|---------|------------------|-------------------------------|------|
| 科目名             | 聴解Ⅲ  |  |      |         |                  |                               |      |
| 科目名(英)          | Japanese Listening Ⅲ   |  |      |         |                  |                               |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数  | 30時間 | 担当者     | 河原田 純子           |                               |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期   | 前期   | 担当者実務経験 |                  |                               |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |  |      |         |                  |                               |      |
| 授業概要            | <p>日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。</p> <p>また、日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。</p> |  |      |         |                  |                               |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △  | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△  |                               |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能   | 運動技能 | 態度意欲    | その他              | 目標                            |      |
|                 | ○  | ○  |      | ○       |                  | キーワードを聞いて、内容を推測できる            |      |
|                 | ○  | ○  |      | ○       |                  | 設問を聞いて、必要な情報を意識して聞き取ることができる   |      |
|                 | ○  | ○  |      | ○       |                  | 聞き取った内容の構成を理解し、大意を口頭・文章で表現できる |      |
|                 | ○  | ○  |      | ○       |                  | 複数の情報を比較・統合しながら、内容が予測できる      |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | <p>星野 恵子、辻 和子『ドリル&amp;ドリル 日本語能力試験 N2 聴解・読解』ユニコム、2010年</p> <p>日本語教育研究所 編著者『聴解が弱いあなたへ』株式会社 凡人社、2016年</p>   |  |      |         |                  |                               |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容  |      |         | 授業外学修指示          |                               |      |
|                 | 1  | 授業概要説明 ドリル&ドリル 課題理解 第1回 ・ 即時応答 第1回               |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 2  | ドリル&ドリル ポイント理解 第1回 概要理解 第1回 ①② 聴解が弱いあなたへ 1お祝い    |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 3  | ドリル&ドリル 課題理解 第2回 即時応答 第2回 聴解が弱いあなたへ 2ゴミ出し        |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 4  | ドリル&ドリル ポイント理解 第2回 概要理解 第1回 ③④ 聴解が弱いあなたへ ③忘れ物を探す |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 5  | ドリル&ドリル 課題理解 第3回 即時応答 第3回 聴解が弱いあなたへ 5初めての一人暮らし   |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 6  | ドリル&ドリル ポイント理解 第3回 統合理解 第1回 即時応答 第4回             |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 7  | ドリル&ドリル 課題理解 第4回 概要理解 第2回①② 即時応答 第5回             |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 8  | ドリル&ドリル ポイント理解 第4回 統合理解 第2回 即時応答 復習              |      |         | 聞き取れなかった語彙・表現の復習 |                               |      |
|                 | 9  | N2問題演習   |      |         |                  |                               |      |
|                 | 10   | N2問題演習   |      |         |                  |                               |      |
|                 | 11   | N2弱点補強   |      |         |                  |                               |      |
|                 | 12   | 聴解が弱いあなたへ 13 体の状態                                |      |         |                  |                               |      |
|                 | 13   | 聴解が弱いあなたへ 14 葉                                   |      |         |                  |                               |      |
|                 | 14   | 聴解が弱いあなたへ 23 ヘアースタイル                             |      |         |                  |                               |      |
| 15              | 前期のまとめ 期末試験対策  |  |      |         |                  |                               |      |
| 評価方法            | (1)定期試験を実施する。(2)ドリル&ドリルは毎回小テストを行う。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。  |  |      |         |                  |                               |      |
|                 |  | 言語情報   | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲            | その他                           | 評価割合 |
|                 | 定期試験   | ◎  | ○    |         |                  |                               | 50%  |
|                 | 小テスト   | ◎  | ◎    |         | ◎                |                               | 50%  |
|                 |  |  |      |         |                  |                               |      |
|                 |  |  |      |         |                  |                               |      |
| 履修上の注意          | 配布されたプリントは必ず復習すること   |  |      |         |                  |                               |      |

|                 |   |                  |      |                  |                  |                        |      |
|-----------------|---|------------------|------|------------------|------------------|------------------------|------|
| 科目名             | 作文  |                  |      |                  |                  |                        |      |
| 科目名(英)          | Japanese Writing  |                  |      |                  |                  |                        |      |
| 単位数             | 2単位   | 時間数              | 30時間 | 担当者              | 河原田 純子           |                        |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期             | 前期   | 担当者実務経験          |                  |                        |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                  |      |                  |                  |                        |      |
| 授業概要            | 学んだ表現を使って書き言葉で作文を書くことができる。さらに、書いたことを口頭で分かりやすく紹介できる。自分の意見を裏付ける根拠となることを分かりやすく伝える力を身につけ、書くことができる。              |                  |      |                  |                  |                        |      |
| 授業形式            | 講義: △   | 演習: ○            | 実習:  | 実技:              | ※ 主たる方法:○ その他:△  |                        |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能             | 運動技能 | 態度意欲             | その他              | 目標                     |      |
|                 | ○   | ○                |      | ○                |                  | 必要な語彙や表現を正しく使用することができる |      |
|                 | ○   | ○                |      | ○                |                  | 自分の意見を分かりやすく書くことができる   |      |
|                 |   |                  |      |                  |                  |                        |      |
|                 |   |                  |      |                  |                  |                        |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | C&P日本語教育・教材研究会(著)『日本語作文I-身近なトピックによる表現練習』専門教育出版、2001年  |                  |      |                  |                  |                        |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容          |      |                  | 授業外学修指示          |                        |      |
|                 | 1   | 授業概要説明 日本語を学ぶ理由① |      |                  | テーマの作文を作成する(1時間) |                        |      |
|                 | 2   | 日本語を学ぶ理由②        |      |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                        |      |
|                 | 3   | 紹介したい有名人①        |      |                  | テーマの作文を作成する(1時間) |                        |      |
|                 | 4   | 紹介したい有名人②        |      |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                        |      |
|                 | 5   | 国との比較 学校・教育①     |      |                  | テーマの作文を作成する(1時間) |                        |      |
|                 | 6   | 国との比較 学校・教育②     |      |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                        |      |
|                 | 7   | 国との比較 家族・結婚観①    |      |                  | テーマの作文を作成する(1時間) |                        |      |
|                 | 8   | 国との比較 家族・結婚観②    |      |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                        |      |
|                 | 9   | 暮らし方・生き方 テーマ選択①  |      |                  | テーマの作文を作成する(1時間) |                        |      |
|                 | 10  | 暮らし方・生き方 テーマ選択②  |      |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                        |      |
|                 | 11  | 将来の計画①           |      |                  | テーマの作文を作成する(1時間) |                        |      |
|                 | 12  | 将来の計画②           |      |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                        |      |
|                 | 13  | 留学生活で学んだこと①      |      |                  | テーマの作文を作成する(1時間) |                        |      |
|                 | 14  | 留学生活で学んだこと②      |      |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                        |      |
| 15              | 留学生活で学んだこと③   |                  |      | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                  |                        |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)グループワーク時の発言以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする |                  |      |                  |                  |                        |      |
|                 |   | 言語情報             | 知的技能 | 運動技能             | 態度・意欲            | その他                    | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)  | ○                | ◎    |                  | ◎                |                        | 50%  |
|                 | グループワーク時の発言   |                  | ◎    |                  | ◎                |                        | 50%  |
|                 |   |                  |      |                  |                  |                        |      |
| 履修上の注意          | レポートや宿題は、必ず期限内に提出して下さい。   |                  |      |                  |                  |                        |      |

|                 |   |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
|-----------------|---|--------------------|------|---------|-----------------------------------|-----------------------------------|------|--|-----------------|
| 科目名             | 読解Ⅲ   |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
| 科目名(英)          | Japanese Reading Ⅲ  |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
| 単位数             | 2単位   | 時間数                | 30時間 | 担当者     | 河原田 純子                            |                                   |      |  |                 |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期               | 前期   | 担当者実務経験 |                                   |                                   |      |  |                 |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
| 授業概要            | 日本語能力試験N2読解では、幅広い話題について書かれた文章の内容や表現、意図を理解する読解力が求められる。この講義では文章理解の基礎となる接続表現、指示語、機能語などのポイントをおさえながら、文章構造を理解し内容把握ができるようにしていく。又、日本語能力試験では様々な文章が出題される。実際の試験と同様の形式の問題を多く読み、文章を読む前の内容予測や読んだ後の正確な解答方法を身につけられるような読み方を訓練する。 |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
| 授業形式            | 講義:   | ○                  | 演習:  | △       | 実習:                               |                                   | 実技:  |  | ※ 主たる方法:○ その他:△ |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能               | 運動技能 | 態度意欲    | その他                               | 目標                                |      |  |                 |
|                 | ○   |                    |      |         |                                   | 本文中の語彙・表現が説明できる                   |      |  |                 |
|                 | ○   | ○                  |      |         |                                   | 本文の概要を理解し、筆者の主張を読み取ることができる        |      |  |                 |
|                 | ○   | ○                  |      |         |                                   | 本文中から必要な情報を素早く探し出すことができる          |      |  |                 |
|                 |   |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 星野 恵子、辻 和子『ドリル&ドリル 日本語能力試験 N2 聴解・読解』ユニコム、2010年  |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容            |      |         |                                   | 授業外学修指示                           |      |  |                 |
|                 | 1   | 内容理解(短文)① 短文1番～5番  |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 2   | 内容理解(短文)② 短文6番～10番 |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 3   | 内容理解(中文)① 短文1番～3番  |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 4   | 確認小テスト             |      |         |                                   | 授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 5   | 内容理解(中文)② 短文4番～6番  |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 6   | 内容理解(中文)③ 短文7番～9番  |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 7   | 統合理解① 統合理解1番～2番    |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 8   | 統合理解② 統合理解3番～4番    |      |         |                                   | 授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 9   | 統合理解② 統合理解3番～4番    |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 10  | 主張理解① 主張理解1番～2番    |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 11  | 確認小テスト             |      |         |                                   | 授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 12  | 主張理解③ 主張理解5番～6番    |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 13  | 情報検索① 情報検索1番～4番    |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
|                 | 14  | 期末試験 試験範囲確認・復習プリント |      |         |                                   | 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(1時間)          |      |  |                 |
| 15              | 期末試験 確認テスト  |                    |      |         | 授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間) |                                   |      |  |                 |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを数回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。   |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
|                 |   | 言語情報               | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                             | その他                               | 評価割合 |  |                 |
|                 | 定期試験  | ◎                  | ○    |         |                                   |                                   | 50%  |  |                 |
|                 | 宿題・小テスト   | ◎                  | ◎    |         | ◎                                 |                                   | 50%  |  |                 |
|                 |   |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |
| 履修上の注意          | 辞書を使わないで、内容を推測しながら文章が読み進められるようにしましょう。   |                    |      |         |                                   |                                   |      |  |                 |



|                 |  |   |      |         |                                      |                               |      |
|-----------------|--|---|------|---------|--------------------------------------|-------------------------------|------|
| 科目名             | 文字語彙Ⅲ  |   |      |         |                                      |                               |      |
| 科目名(英)          | Japanese characters and vocabulary Ⅲ   |   |      |         |                                      |                               |      |
| 単位数             | 4単位  | 時間数   | 60時間 | 担当者     | 河原田 純子                               |                               |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期  | 前期   | 担当者実務経験 |                                      |                               |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |   |      |         |                                      |                               |      |
| 授業概要            | 日本語能力試験N2レベルの語彙をトピック・使い方などのグループごとに学び、約1400語を、その言葉だけでなく、短い文や語句を効率よく覚える。言語知識だけでなく、読解や聴解問題、日常生活でも役立つ語彙を身につけることを目指す。 |   |      |         |                                      |                               |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△                      |                               |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能  | 運動技能 | 態度意欲    | その他                                  | 目標                            |      |
|                 | ○  | ○   |      |         |                                      | 前後の文脈から空所に入る語を選ぶことができる        |      |
|                 | ○  | ○   |      |         |                                      | 出題された語と意味的に近い語を選ぶことができる       |      |
|                 | ○  | ○   |      |         |                                      | 複数の文の中から語が正しく使われている文を選ぶことができる |      |
|                 | ○  | ○   |      |         |                                      | 接頭辞や接尾辞などを入れ、派生語や複合語を作ることができる |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 伊能 裕晃(著), 来栖 里美(著), 前坊 香菜子(著), 宮田 公治(著), 阿保 きみ枝(著), 本田 ゆかり(著)<br>『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク、2013年          |   |      |         |                                      |                               |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容   |      |         | 授業外学修指示                              |                               |      |
|                 | 1・2  | <実力養成編第1部> 1章 人間 1・2・3課   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 3・4  | 2章 生活 1・2・3課  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 5・6  | 3章 趣味・娯楽 / 4章 旅行 1・2課   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 7・8  | 5章 教育と仕事 1・2課   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 9・10   | 6章 メディア 1・2課  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 11・12  | 7章 社会 1・2・3・4課  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 13・14  | 8章 科学 1・2課  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 15・16  | 9章 抽象概念 1・2課  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 17・16  | <実力養成編第2部> 1章 意味がたくさんある言葉 1・2・3課  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 19・20  | 2章 意味が似ている言葉 1・2課   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 21・22  | 3章 形がにている言葉   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 23・24  | 4章 副詞 1・2・3課  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 25・26  | 5章 オノマトペ / 6章 慣用表現 1・2課   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 27・28  | 7章 語形成 1・2・3・4回   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                               |      |
|                 | 29・30  | 確認テスト(模擬試験) 第1回・第2回   |      |         | 授業内容に係る模擬試験を実施するので、復習しておくこと(2時間)     |                               |      |
|                 | 評価方法   | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を毎回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |      |         |                                      |                               |      |
|                 |  | 言語情報  | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                                | その他                           | 評価割合 |
| 定期試験            |  | ◎   | ○    |         |                                      |                               | 50%  |
| 宿題              |  | ◎   | ○    |         | ◎                                    |                               | 50%  |
|                 |  |   |      |         |                                      |                               |      |
|                 |  |   |      |         |                                      |                               |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙の宿題を必ずしていただくこと。   |   |      |         |                                      |                               |      |

|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|-----------------|--|---|------|---------|-----------------|---|-----|------|
| 科目名             | 文法Ⅲ  |   |      |         |                 |   |     |      |
| 科目名(英)          | Japanese Grammar Ⅲ   |   |      |         |                 |   |     |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数   | 40時間 | 担当者     | 河原田 純子          |   |     |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期  | 前期   | 担当者実務経験 |                 |   |     |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |   |      |         |                 |   |     |      |
| 授業概要            | 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができることを目指す。 |   |      |         |                 |   |     |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |   |     |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能  | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標  |     |      |
|                 | ○  | ○   |      | ○       |                 | 文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる                       |     |      |
|                 | ○  | ○   |      | ○       |                 | 統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができる                     |     |      |
|                 | ○  | ○   |      | ○       |                 | 文章の流れに合った文かどうかを判断することができる                         |     |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N2 文法(「日本語能力試験」対策)』アスク出版、2010年        |   |      |         |                 |   |     |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容   |      |         |                 | 授業外学修指示   |     |      |
|                 | 1・2  | 1: 総まとめN2文法 第1週 1日目～3日目<br>2: 総まとめN2文法 第1週 4日目～6日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第1週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 | 3・4  | 3: 総まとめN2文法 第2週 1日目～3日目<br>4: 総まとめN2文法 第2週 4日目～6日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第2週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 | 5・6  | 5: 総まとめN2文法 第3週 1日目～3日目<br>6: 総まとめN2文法 第3週 4日目～6日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第3週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 | 7・8  | 7: 総まとめN2文法 第4週 1日目～3日目<br>8: 総まとめN2文法 第4週 4日目～6日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第4週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 | 9・10   | 9: 総まとめN2文法 第5週 1日目～3日目<br>10: 総まとめN2文法 第5週 4日目～6日目   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第5週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 | 11・12  | 11: 総まとめN2文法 第6週 1日目～3日目<br>12: 総まとめN2文法 第6週 4日目～6日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第6週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 | 13・14  | 13: 総まとめN2文法 第7週 1日目～3日目<br>14: 総まとめN2文法 第7週 4日目～6日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第7週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 | 15・16  | 15: 総まとめN2文法 第1・2週7日目<br>16: 総まとめN2文法 第3・4週7日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第1～4週の既習文法の復習のこと |     |      |
|                 | 17・18  | 17: 総まとめN2文法 第5・6週7日目<br>18: 総まとめN2文法 第7週7日目/ 第8週 1日目～2日目   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第5～7週の既習文法の復習のこと |     |      |
|                 | 19・20  | 21: 総まとめN2文法 第8週 3日目～4日目<br>22: 総まとめN2文法 第8週 5日目～7日目  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べておく、また第8週の既習文法の復習のこと   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 | 評価方法   | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   | 言語情報 | 知的技能    | 運動技能            | 態度・意欲   | その他 | 評価割合 |
|                 |  | 定期試験  | ◎    | ○       |                 |   |     | 50%  |
| 小テスト            |  | ◎   | ◎    |         | ◎               |   | 50% |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
|                 |  |   |      |         |                 |   |     |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること  |   |      |         |                 |   |     |      |

|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
|-----------------|--|-------------------------|------|---------|-----------------|---|------|
| 科目名             | 日本事情   |                         |      |         |                 |   |      |
| 科目名(英)          | Study of Japanese society  |                         |      |         |                 |   |      |
| 単位数             | 1単位  | 時間数                     | 15時間 | 担当者     | 河原田 純子          |   |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期                    | 前期   | 担当者実務経験 |                 |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業概要            | 日本の社会や文化について基本的な知識を身に付け、日本や日本人を理解する一助とする。自国との違いやその背景を考え、多文化理解につなげる。日本独自の文化的な活動を体験しながら学ぶ。                           |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業形式            | 講義: △  | 演習: ○                   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能                    | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                      |      |
|                 | ○  | ○                       |      | ○       |                 | 日本独自の文化の背景にあるものについて考えることができる。           |      |
|                 |  |                         |      | ○       |                 | 日本独自の文化的な活動に積極的に取り組むことができる。             |      |
|                 | ○  | ○                       |      | ○       |                 | 考え方や視点の相違を認め、相手の意見を傾聴し、多角的に物事を見ることができる。 |      |
|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 日本事情プロジェクト 著『新訂版 話そう考えよう 初級 日本事情』スリーエーネットワーク、  |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容                 |      |         |                 | 授業外学修指示                                 |      |
|                 | 1  | 今年の新語・流行語               |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 2  | 今年の漢字・年賀状を書こう           |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 3  | 日本の産業構造① 第6次産業 「おひとりさま」 |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 4  | 日本の産業構造② AI             |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 5  | まとめのレポート作成              |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 6  | 陶芸                      |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 7  | 茶道                      |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 8  | 期末試験                    |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 9  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 10   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 11   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 12   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 13   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 14   |                         |      |         |                 |   |      |
| 15              |  |                         |      |         |                 |   |      |
| 評価方法            | (1)宿題・レポートを毎回提出する (2)定期試験(筆記)を実施する<br>以上を下記の観点・割合で評価する<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                         |      |         |                 |   |      |
|                 |  | 言語情報                    | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他                                     | 評価割合 |
|                 | 宿題・レポート  | ○                       | ○    |         | ○               |   | 50%  |
|                 | 定期試験(筆記)   | ○                       | ○    |         |                 |   | 50%  |
|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
| 履修上の注意          | 提出物を必ず提出すること   |                         |      |         |                 |   |      |

|                 |  |             |      |         |                 |  |      |
|-----------------|--|-------------|------|---------|-----------------|--|------|
| 科目名             | 会話Ⅲ  |             |      |         |                 |  |      |
| 科目名(英)          | Japanese Conversation III  |             |      |         |                 |  |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数         | 30時間 | 担当者     | 田中 美和子          |  |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期        | 前期   | 担当者実務経験 |                 |  |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |             |      |         |                 |  |      |
| 授業概要            | 映画作品とそのシナリオを用いて「生きた自然な日本語」に触れながら、既習の文法や語彙が実生活のなかでどのように用いられているかを学び、同時に話し言葉としての日本語を運用できる力を鍛える。                   |             |      |         |                 |  |      |
| 授業形式            | 講義: △  | 演習: ○       | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |  |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能        | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標   |      |
|                 | ○  |             |      |         |                 | 語彙や表現が意味のあるコンテキストのなかでどのように用いられているか説明することができる |      |
|                 |  | ○           |      | ○       |                 | 相手の心情に配慮し場面に即したコミュニケーションをとることができる            |      |
|                 |  | ○           |      | ○       |                 | 他者とのインターアクションを会話のなかで紡ぎ出すことができる。              |      |
|                 |  |             |      |         |                 |  |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | ・映画「おくりびと」映像資料<br>・同作品のシナリオ(脚本/小山薫堂・監督/滝田洋二郎) その他、適宜、参考文献を用いる予定  |             |      |         |                 |  |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容     |      |         |                 | 授業外学修指示                                      |      |
|                 | 1  | オリエンテーション   |      |         |                 | これまでの会話学習の振り返り(1時間)                          |      |
|                 | 2  | 背景理解        |      |         |                 | シナリオを読む(1時間)                                 |      |
|                 | 3  | 登場人物の整理     |      |         |                 | シナリオを読む(1時間)                                 |      |
|                 | 4  | 場面理解と活動(1)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 5  | 場面理解と活動(2)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 6  | 場面理解と活動(3)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 7  | 場面理解と活動(4)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 8  | 場面理解と活動(5)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 9  | 場面理解と活動(6)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 10   | 場面理解と活動(7)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 11   | 場面理解と活動(8)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 12   | 場面理解と活動(9)  |      |         |                 | 指定箇所の復習・予習(1時間)                              |      |
|                 | 13   | 場面理解と活動(10) |      |         |                 | 発表準備 (2時間)                                   |      |
|                 | 14   | 総括1         |      |         |                 | 発表準備 (2時間)                                   |      |
| 15              | 総括2  |             |      |         | 発表準備 (2時間)      |  |      |
| 評価方法            | (1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)定期試験(口頭)<br>以上を下記の観点・割合で評価する<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |             |      |         |                 |  |      |
|                 |  | 言語情報        | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他  | 評価割合 |
|                 | 会話作成・発表  | ○           | ○    |         | ○               |  | 50%  |
|                 | 定期テスト(口頭)  | ○           | ○    |         | ○               |  | 50%  |
|                 |  |             |      |         |                 |  |      |
|                 |  |             |      |         |                 |  |      |
| 履修上の注意          | 授業終了後に、次の課題を配布するので、課題をしっかりと完成し、積極的に発話してください。   |             |      |         |                 |  |      |

|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
|-----------------|---|---------------------------|------|---------|------------------------|--|------|
| 科目名             | ディスカッション&ディベート  |                           |      |         |                        |  |      |
| 科目名(英)          | Discussion & Debate   |                           |      |         |                        |  |      |
| 単位数             | 1単位   | 時間数                       | 15時間 | 担当者     | 河原田 純子                 |  |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                      | 前期   | 担当者実務経験 |                        |  |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                           |      |         |                        |  |      |
| 授業概要            | より実践的な日本語コミュニケーション能力を身に付けるためディベート形式での討論を行う。ディベートのルール、論旨の建て方、反駁の仕方などを学んだ後、講義ごとに設定されるテーマに基づいてチームに分かれてディベートを行う。  |                           |      |         |                        |  |      |
| 授業形式            | 講義: △   | 演習: ○                     | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△        |  |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                      | 運動技能 | 態度意欲    | その他                    | 目標   |      |
|                 | ○   | ○                         |      |         |                        | 身近なトピックでの討論の場において、自らの考えを整理し論理性と説得力をもって表明できる。   |      |
|                 | ○   | ○                         |      | ○       |                        | 相手の意見にうまく賛成や反対の意思を伝えることで、円滑に討論・ディベートを行うことができる。 |      |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | なし  |                           |      |         |                        |  |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                   |      |         | 授業外学修指示                |  |      |
|                 | 1   | 授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 2   | 意見展開・情報収集について             |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 3   | 質問・反駁のしかたについて             |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 4   | ディスカッション実践「日本の文化・習慣」      |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 5   | ディスカッション実践「大切なもの」         |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 6   | ディベート実践「教育」               |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 7   | ディベート実践「働き方」              |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 8   | ディベート実践「科学技術」             |      |         | 振り返りレポートの作成(2時間)       |  |      |
|                 | 9   |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 10  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 11  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 12  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 13  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 14  |                           |      |         |                        |  |      |
| 15              |   |                           |      |         |                        |  |      |
| 評価方法            | (1) 課題をこなし、準備の上、各回の講義に臨んでいるか(50%)、(2) 各回の講義で積極的に討論・ディベートに参加し、講義中に紹介される表現技法を用いて効果的に発言できているか(50%)、の2点により評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                           |      |         |                        |  |      |
|                 |   | 言語情報                      | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                  | その他  | 評価割合 |
|                 | 事前準備  | ○                         | ○    |         |                        |  | 50%  |
|                 | 参加・発言   |                           |      |         | ○                      |  | 50%  |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
| 履修上の注意          | 積極的に発話するように心掛けて下さい。   |                           |      |         |                        |  |      |

| 科目名             | 日本語試験対策B  |                              |      |         |                                      |  |      |
|-----------------|---|------------------------------|------|---------|--------------------------------------|--|------|
| 科目名(英)          | Strategy for paasing JLPT   |                              |      |         |                                      |  |      |
| 単位数             | 2単位   | 時間数                          | 40時間 | 担当者     | 金子 陽平                                |  |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                         | 前期   | 担当者実務経験 |                                      |  |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                              |      |         |                                      |  |      |
| 授業概要            | 日本語能力試験のN2読解、聴解の問題を中心に学習する。読解はN2レベルの文章の内容理解、概要把握、情報検索などのスキルを身に付ける。聴解はN2レベルの即時応答、課題理解、ポイント理解などの問題を形式別にとき、N2に合格できるスキルとストラテジーを学び、試験合格を目指す。 |                              |      |         |                                      |  |      |
| 授業形式            | 講義: ○   | 演習: △                        | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△                      |  |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 目標  |                              |      |         |                                      |  |      |
|                 | 言語情報  | 知的技能                         | 運動技能 | 態度意欲    | その他                                  |  |      |
|                 | ○   | ○                            |      |         |                                      | 「即時応答」: やりとりを聞いて、適切な回答を即時に判断できる          |      |
|                 | ○   | ○                            |      |         |                                      | 「課題理解」: 話の中から指示や依頼内容を理解し、何を求められているか判断できる |      |
|                 | ○   | ○                            |      |         |                                      | 「ポイント理解」: 話の中から質問されたことにポイントを絞って聞き取れる     |      |
|                 | ○   | ○                            |      |         |                                      | N2レベルの文章の内容が予測できる                        |      |
| ○               | ○   |                              |      |         | 文章の構成や接続、文末表現、キーワードなどから大意をとらえることができる |  |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N3 読解』アスク出版、2010年<br>佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N3 聴解』アスク出版、2017年  |                              |      |         |                                      |  |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                      |      |         | 授業外学修指示                              |  |      |
|                 | 1   | 日本語総まとめN2読解 意見文①②            |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 2   | 日本語総まとめN2読解 意見文③④            |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 3   | 日本語総まとめN2読解 説明文①②            |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 4   | 日本語総まとめN2読解 第3週実戦問題(テスト形式)   |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 5   | 日本語総まとめN2読解 論説文①②            |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 6   | 日本語総まとめN2読解 論説文③④            |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 7   | 日本語総まとめN2読解 論説文⑤⑥            |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 8   | 日本語総まとめN2読解 第6週実戦問題(テスト形式)   |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 9   | 模擬試験                         |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 10  | 日本語の発音に慣れる練習-特殊音・文法項目の聞き取り練習 |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 11  | 即時応答                         |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 12  | 課題理解①-条件を整理しながら聞く練習          |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 13  | 課題理解②-相手の反応からするべきことを理解する練習   |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 14  | ポイント理解①-言い換えに注意する            |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 15  | ポイント理解②-必要な情報を拾い上げる練習        |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 16  | 概要理解①-話のキーワードを抽出する練習         |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 17  | 概要理解②-相手の主張や意見を聞き取る練習        |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 18  | 統合理解①-2人以上の会話を聞く練習           |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 19  | 統合理解②-総合練習                   |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
|                 | 20  | 総復習(確認テスト)                   |      |         | 間違えた問題、難しかった問題の復習・未知の語彙の確認と暗記(1時間)   |  |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。                     |                              |      |         |                                      |  |      |
|                 |   | 言語情報                         | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                                | その他                                      | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)  | ○                            | ◎    |         | ◎                                    |  | 50%  |
|                 | 小テスト  |                              | ◎    |         | ◎                                    |  | 50%  |
|                 |   |                              |      |         |                                      |  |      |
|                 |   |                              |      |         |                                      |  |      |
| 履修上の注意          | 宿題を必ずすること。  |                              |      |         |                                      |  |      |

| 科目名             | 総合日本語Ⅲ  |   |       |         |                  |   |                 |
|-----------------|---|---|-------|---------|------------------|---|-----------------|
| 科目名(英)          | General Japanese III  |   |       |         |                  |   |                 |
| 単位数             | 8単位   | 時間数   | 120時間 | 担当者     | 金子 陽平            |   |                 |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期  | 前期    | 担当者実務経験 |                  |   |                 |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |   |       |         |                  |   |                 |
| 授業概要            | 初級の学習をひと通り終えた学習者を対象とし、日本語の基本的な文の構造や文を組み立てる規則を理解し、日常的に使用される基本的な語彙や表現を使って、伝えたいことを文にして伝えられるようになる。                    |   |       |         |                  |   |                 |
| 授業形式            | 講義:   | ○   | 演習:   | △       | 実習:              | 実技:   | ※ 主たる方法:○ その他:△ |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能  | 運動技能  | 態度意欲    | その他              | 目標  |                 |
|                 | ○   | ○   |       |         |                  | 中級レベルの語彙、文法の意味を理解し、運用することができる。              |                 |
|                 | ○   | ○   |       |         |                  | 日常生活に体験する出来事や社会的な話題について、自分の意見、感想を述べることができる。 |                 |
|                 | ○   | ○   |       |         |                  | 異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。     |                 |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 松田浩志、亀田美保 著『テーマ別 中級から学ぶ日本語(三訂版)』株式会社 研究社 2014   |   |       |         |                  |   |                 |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容   |       |         |                  | 授業外学修指示                                     |                 |
|                 | 1~4   | 第3課 たべる <ごちそう><br>人間の結びつきがどんどん弱くなる現代の「孤」の社会を考える。                                |       |         |                  | 第4課の言葉予習(1時間)                               |                 |
|                 | 5~8   | 第4課 たとえる <猫に小判><br>要領良くわかりやすく伝えるために使われることわざや例え、慣用的表現について                        |       |         |                  | 第3課、第4課の復習(2時間)                             |                 |
|                 | 9   | 第3課、第4課 復習  |       |         |                  | 第5課の言葉予習(1時間)                               |                 |
|                 | 10~13   | 第5課 あきれる <満員電車><br>異なる文化とどう向き合うか、そこで見たり聞いたりしたことをどう学びにつなげる                       |       |         |                  | 第6課の言葉予習(1時間)                               |                 |
|                 | 14~17   | 第6課 つたえる <思いやり><br>言葉の伝わり方、伝え方について考える。  |       |         |                  | 第5課、第6課の復習(2時間)                             |                 |
|                 | 18  | 第5課、第6課 復習  |       |         |                  | 第7課の言葉予習(1時間)                               |                 |
|                 | 19~22   | 第7課 かざる <名刺><br>見栄えを大切にすることは日本文化特有のことなのか、「外見と中身」について考                           |       |         |                  | 第8課の言葉予習(1時間)                               |                 |
|                 | 23~26   | 第8課 おもいこむ <男の色・女の色><br>時代が変わっても気がつきにくい人間の思い込みについて考える。                           |       |         |                  | 第7課、第8課の復習(2時間)                             |                 |
|                 | 27  | 第7課、第8課 復習  |       |         |                  | 第9課の言葉予習(1時間)                               |                 |
|                 | 28~31   | 第9課 まもる <見えない相手><br>日常経験するITの身近な問題を取り上げ、社会の変革にどう対処すべきかを考                        |       |         |                  | 第10課の言葉予習(1時間)                              |                 |
|                 | 32~35   | 第10課 なれる <腕時計><br>気づかないうちに時間に追い回されている毎日の生活について考える。                              |       |         |                  | 第9課、第10課の復習(2時間)                            |                 |
|                 | 36  | 第9課、第10課 復習   |       |         |                  | 第1課~第10課の復習(2時間)                            |                 |
|                 | 37  | 第1課~第10課 ふくしゅう  |       |         |                  | 第11課の言葉予習(1時間)                              |                 |
|                 | 38~41   | 第11課 つながる <タテとヨコ>現代の人間関係をテーマにし、若い世代の「ため口」や間違った敬語、お年寄りに対する軽視、IT機器に頼った表面的な人間関係などに |       |         |                  | 第12課の言葉予習(1時間)                              |                 |
|                 | 42~45   | 第12課 わける <ABOAB>人はなぜ他人をタイプに分けて見ようとするのか、そのことが日常の付き合いにどのように影響を及ぼしているのか考える。        |       |         |                  | 第11課、第12課の復習(2時間)                           |                 |
|                 | 46  | 第11課、第12課 復習  |       |         |                  | 第13課の言葉予習(1時間)                              |                 |
|                 | 47~50   | 第13課 おもいだす <屋のにおい>思い出をテーマに、何がどうして思い出として残るのか、思い出が人生においてどんな意味を持つようになるのか考える。       |       |         |                  | 第14課の言葉予習(1時間)                              |                 |
|                 | 51~54   | 第14課 みなおす <てるてるぼうず><br>学習者ひとりひとりの現在、将来の生活に直接影響のある、自然との付き合い方と                    |       |         |                  | 第13課~第14課の復習(2時間)                           |                 |
|                 | 55  | 第13課、第14課 復習  |       |         |                  | 第15課の言葉予習(1時間)                              |                 |
| 56~59           | 第15課 ふれあう <旅行かばん><br>自分の文化を理解しないで、異なる文化は理解できないのではないかというテーマ  |   |       |         | 第1課~第15課の復習(2時間) |   |                 |
| 60              | 総復習   |   |       |         | 第1課~第15課の復習(2時間) |   |                 |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを5回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |   |       |         |                  |   |                 |
|                 |   | 言語情報  | 知的技能  | 運動技能    | 態度・意欲            | その他   | 評価割合            |
|                 | 定期試験  | ○   | ○     |         |                  |   | 50%             |
|                 | 小テスト  | ○   | ○     |         | ○                |   | 50%             |
| 履修上の注意          | 新しい言葉の予習、学習項目の復習をすること。  |   |       |         |                  |   |                 |

|                 |   |                                   |      |         |                 |  |      |
|-----------------|---|-----------------------------------|------|---------|-----------------|--|------|
| 科目名             | 会話Ⅲ   |                                   |      |         |                 |  |      |
| 科目名(英)          | Japanese ConversationⅢ  |                                   |      |         |                 |  |      |
| 単位数             | 2単位   | 時間数                               | 30時間 | 担当者     | 金子 陽平           |  |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                              | 前期   | 担当者実務経験 |                 |  |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                                   |      |         |                 |  |      |
| 授業概要            | 自分もつ言語知識を使って、自分のことを伝え、価値観や立場の違う相手のことを理解することを学び、日本語によるコミュニケーション能力として対話力を身につける。また、できるだけ早い段階から段落を構成して(固まりで)話すことを目標とする。 |                                   |      |         |                 |  |      |
| 授業形式            | 講義: △   | 演習: ○                             | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |  |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                              | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                       |      |
|                 | ○   | ○                                 |      | ○       |                 | 学校・職場・地域などの生活場面において、日本語での自然な会話の使い分けができる。 |      |
|                 | ○   |                                   |      |         |                 | トピックについて話すときに必要な文型、表現、語彙を考え、運用することができる。  |      |
|                 | ○   |                                   |      | ○       |                 | 相手の伝えたいことを理解し、自分の意見を述べるができる。             |      |
|                 |   |                                   |      |         |                 |  |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 加藤早苗(監修)、秋山信子・坂本舞(著)『WEEKLY J:日本語で話す6週間』凡人社、2012年   |                                   |      |         |                 |  |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                           |      |         |                 | 授業外学修指示                                  |      |
|                 | 1   | Unit 12 意見を言う                     |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 2   | Unit 13 国のルールやよくないと言われていることについて話す |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 3   | Unit 14 失敗談を話す                    |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 4   | Unit 15 聞いた話をもとに人に伝える             |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 5   | Unit 16 うれしかった思い出を話す              |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 6   | Unit 17 赤いセーターを着ている人は誰ですか         |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 7   | Unit 18 謝る                        |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 8   | Unit 19 相手に忠告する                   |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 9   | Unit 20 電話をする                     |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 10  | Unit 21 状況を聞く・答える                 |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 11  | Unit 22 日本を来てから変わったことについて話す       |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 12  | Unit 23 好きな場所を紹介する                |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 13  | Unit 24 経験に基づいてアドバイスする            |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 14  | Unit 25 相手に苦情・文句を言う               |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
|                 | 15  | Unit 30 問い合わせる                    |      |         |                 | 授業終了時に示す課題について、レポートを作成すること(2時間)          |      |
| 評価方法            | (1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)定期試験(口頭)<br>以上を下記の観点・割合で評価する<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。      |                                   |      |         |                 |  |      |
|                 |   | 言語情報                              | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他                                      | 評価割合 |
|                 | 会話作成・発表   | ○                                 | ○    |         | ○               |  | 50%  |
|                 | 定期テスト(口頭)   | ○                                 | ○    |         | ○               |  | 50%  |
| 履修上の注意          | 授業終了後に、次のUnitの課題を配布するので、課題をしっかりと完成し、積極的に発話してください。   |                                   |      |         |                 |  |      |



|                 |  |             |      |         |                                 |  |      |
|-----------------|--|-------------|------|---------|---------------------------------|--|------|
| 科目名             | 聴解Ⅲ  |             |      |         |                                 |  |      |
| 科目名(英)          | Japanese ListeningⅢ  |             |      |         |                                 |  |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数         | 30時間 | 担当者     | 金子 陽平                           |  |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期        | 前期   | 担当者実務経験 |                                 |  |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |             |      |         |                                 |  |      |
| 授業概要            | 日本語の音声の特徴に慣れ、全般的な聴解能力を伸ばすとともに、日本語能力試験N3に合格できるレベルの聴解スキルとストラテジーを学び、N3合格を目指す。   |             |      |         |                                 |  |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △       | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△                 |  |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能        | 運動技能 | 態度意欲    | その他                             | 目標                                     |      |
|                 | ○  | ○           |      |         |                                 | 日常生活に役立つ、簡単な聞き取りや説明を聞いて理解し、生活の中で運用できる。 |      |
|                 | ○  | ○           |      |         |                                 | 事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。  |      |
|                 | ○  | ○           |      |         |                                 | テキスト全体から話者の意図や主張などを聞き、適当な答えが選択できる。     |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 小原亜紀子 横井和子『耳から覚える日本語能力試験聴解トレーニングN3』アルク、2013年<br>棚橋 明美 野原 ゆかり 杉山 ますよ(著)『日本語能力試験問題集N3聴解スピードマスター』<br>ジェイ・リサーチ出版、2010年   |             |      |         |                                 |  |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容     |      |         |                                 | 授業外学修指示                                |      |
|                 | 1  | 問題紹介、音声に慣れる |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 2  | 課題理解①       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 3  | 課題理解②       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 4  | ポイント理解①     |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 5  | ポイント理解②     |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 6  | 概要理解①       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 7  | 概要理解②       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 8  | 小テスト        |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 9  | 発話表現①       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 10   | 発話表現②       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 11   | 即時応答①       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 12   | 即時応答②       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 13   | 実践問題①       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
|                 | 14   | 実践問題②       |      |         |                                 | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間)        |      |
| 15              | 実践問題③  |             |      |         | 配布されたプリント、わからなかった用語等復習すること(1時間) |  |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |             |      |         |                                 |  |      |
|                 |  | 言語情報        | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                           | その他                                    | 評価割合 |
|                 | 定期試験   | ◎           | ○    |         |                                 |  | 50%  |
|                 | 小テスト   | ◎           | ◎    |         | ◎                               |  | 50%  |
|                 |  |             |      |         |                                 |  |      |
|                 |  |             |      |         |                                 |  |      |
| 履修上の注意          | 音声教材を使い授業を進めていくので、授業への不参加、居眠りは減点します。   |             |      |         |                                 |  |      |

|                 |  |                           |      |                    |                    |   |      |
|-----------------|--|---------------------------|------|--------------------|--------------------|---|------|
| 科目名             | 作文   |                           |      |                    |                    |   |      |
| 科目名(英)          | Japanese Writing   |                           |      |                    |                    |   |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数                       | 30時間 | 担当者                | 金子 陽平              |   |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期                      | 前期   | 担当者実務経験            |                    |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |                           |      |                    |                    |   |      |
| 授業概要            | 準備をして短いスピーチをすることができる。<br>自分の意見を裏付ける根拠となることを分かりやすく伝える力を身につけることができる。   |                           |      |                    |                    |   |      |
| 授業形式            | 講義: △  | 演習: ○                     | 実習:  | 実技:                | ※ 主たる方法:○ その他:△    |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能                      | 運動技能 | 態度意欲               | その他                | 目標                                      |      |
|                 | ○  | ○                         |      | ○                  |                    | 自分の意見、考えを初中級、中級レベルの語彙、文法を使ってまとめることができる。 |      |
|                 | ○  | ○                         |      | ○                  |                    | トピックについての意見、考えを他者に分かりやすく述べる。。           |      |
|                 |  |                           |      |                    |                    |   |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 黒崎典子『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』凡人社、2012年  |                           |      |                    |                    |   |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容                   |      |                    | 授業外学修指示            |   |      |
|                 | 1  | 自己紹介「私」について               |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 2  | インタビュー 日本人の学生に聞いてみたいこと    |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 3  | スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと① |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 4  | スピーチ(1) 異文化に触れて不思議に感じたこと② |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 5  | ディスカッション (1) 携帯 必要？ 不必要？  |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 6  | スピーチ(1) 発表                |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 7  | スピーチ(2) 紹介したい国や町①         |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 8  | スピーチ(2) 紹介したい国や町②         |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 9  | ディスカッション (2) 美容整形 賛成！ 反対？ |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 10   | スピーチ(2) 発表                |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 11   | ディスカッション (3) 日本人はどうして・・・？ |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 12   | プレゼンターマ決め                 |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 13   | プレゼン内容                    |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
|                 | 14   | 最終発表 ①                    |      |                    | スピーチを・考える／覚える(1時間) |   |      |
| 15              | 最終発表 ②   |                           |      | スピーチを・考える／覚える(1時間) |                    |   |      |
| 評価方法            | (1)宿題・レポートを数回実施する。(2)発表を数回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                           |      |                    |                    |   |      |
|                 |  | 言語情報                      | 知的技能 | 運動技能               | 態度・意欲              | その他                                     | 評価割合 |
|                 | 宿題・レポート  | ○                         | ◎    |                    | ◎                  |   | 50%  |
|                 | 発表   |                           | ◎    |                    | ◎                  |   | 50%  |
|                 |  |                           |      |                    |                    |   |      |
| 履修上の注意          | レポートや宿題は次の月曜日までに提出して下さい。   |                           |      |                    |                    |   |      |

|                 |   |   |      |         |                             |   |      |
|-----------------|---|---|------|---------|-----------------------------|---|------|
| 科目名             | 読解Ⅲ   |   |      |         |                             |   |      |
| 科目名(英)          | Japanese ReadingⅢ   |   |      |         |                             |   |      |
| 単位数             | 2単位   | 時間数   | 30時間 | 担当者     | 金子 陽平                       |   |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期  | 前期   | 担当者実務経験 |                             |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |   |      |         |                             |   |      |
| 授業概要            | 前後の文脈から未習単語を推測し、段落や接続詞、述部表現などから文章の構成をつかんで内容を理解できるようにすることを目的とする。また、読んだあとで、内容に関する簡単な説明・意見が言えるように指導していく。テキスト以外にも、能力試験の過去問題や新聞、小説などを使い、様々なタイプの読み物が読めるようにする。 |   |      |         |                             |   |      |
| 授業形式            | 講義: ○   | 演習: △   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△             |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能  | 運動技能 | 態度意欲    | その他                         | 目標                                      |      |
|                 | ○   | ○   |      |         |                             | 日常生活に必要な語彙、文型、表現がある程度理解し、適当な答えが選択できる。   |      |
|                 | ○   | ○   |      |         |                             | メールやお知らせなどを読んで情報を探し出し、必要な情報を読み取ることができる。 |      |
|                 | ○   | ○   |      |         |                             | 授業で扱ったテーマの内容について、自分の体験や考えを論理的に述べるができる。  |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 田代ひとみ、宮田聖子、荒巻朋子 著『新完全マスター読解 日本語能力試験N3』スリーエーネットワーク、2014年   |   |      |         |                             |   |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容   |      |         |                             | 授業外学修指示                                 |      |
|                 | 1   | ①JLPTの説明②書き言葉に慣れよう③漢語と和語<br>④助詞のような働きをする言葉                          |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 2   | ①基本的な文を読む練習<br>②新完全マスターN3広告文(p58)                                   |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 3   | ①文の読み方をスピードアップする<br>②速読の練習/新完マスN3 p18、44、60                         |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 4   | ①キーワードから文を推測・答えを選ぶ<br>②受身・使役・使役受身・授受(誰が誰に?/誰がする?)確認                 |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 5   | ①キーワードから文の読み方をスピードアップする<br>②「問い」にあるキーワードから本文を読む                     |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 6   | ①問題によって読み方を変える練習<br>②筆者の意見、下線部問題、指示文の読み方                            |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 7   | ①JLPT読解のテストタイムの感覚を覚える<br>②グラブp70~73、実力養成p78~81、p82~85、p100、p120~121 |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 8   | ①JLPT読解のテストタイムの感覚を覚える<br>②選択肢のキーワードを本文から読み取る                        |      |         |                             | 必ず、新出語彙を調べてくること(1時間)                    |      |
|                 | 9   | N3読解模擬試験<br>p148~159、p126~129                                       |      |         |                             | 模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)              |      |
|                 | 10  | N3読解模擬試験<br>公式問題集   |      |         |                             | 模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)              |      |
|                 | 11  | N3読解模擬試験<br>公式問題集 第2集   |      |         |                             | 模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)              |      |
|                 | 12  | N3読解模擬試験<br>ベスト模試 第1回   |      |         |                             | 模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)              |      |
|                 | 13  | N3読解模擬試験<br>ベスト模試 第2回   |      |         |                             | 模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)              |      |
|                 | 14  | N3読解模擬試験<br>ベスト模試 第3回   |      |         |                             | 模擬試験で配布されたプリントを復習すること(2時間)              |      |
| 15              | N3読解 確認テスト  |   |      |         | 授業内で配布されたプリントを全て復習すること(2時間) |   |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テスト3回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。                                   |   |      |         |                             |   |      |
|                 |   | 言語情報  | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                       | その他                                     | 評価割合 |
|                 | 定期試験  | ◎   | ○    |         |                             |   | 50%  |
|                 | 小テスト  | ◎   | ◎    |         | ◎                           |   | 50%  |
|                 |   |   |      |         |                             |   |      |
|                 |   |   |      |         |                             |   |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること   |   |      |         |                             |   |      |

|                 |  |  |      |         |                 |                                      |      |
|-----------------|--|--|------|---------|-----------------|--------------------------------------|------|
| 科目名             | 文字語彙Ⅲ  |  |      |         |                 |                                      |      |
| 科目名(英)          | Japanese characters and vocabularyⅢ  |  |      |         |                 |                                      |      |
| 単位数             | 4単位  | 時間数  | 60時間 | 担当者     | 金子 陽平           |                                      |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期   | 前期   | 担当者実務経験 |                 |                                      |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |  |      |         |                 |                                      |      |
| 授業概要            | 日本語能力試験N3レベルの語彙をトピック・使い方などのグループごとに学び、短い文や語句を効率よく覚える。「聞く・読む・書く話す」の4つの言語運用能力を支える語彙力を伸ばし、読解や聴解問題、日常生活でも役立つ語彙を身につけることを目指す。 |  |      |         |                 |                                      |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △  | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |                                      |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能   | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                   |      |
|                 | ○  | ○  |      |         |                 | 前後の文脈から空所に入る語を選択することができる。            |      |
|                 | ○  | ○  |      |         |                 | 出題された語と意味的に近い語を選択することができる。           |      |
|                 | ○  | ○  |      |         |                 | 複数の文の中から語が正しく使われている文を選択することができる。     |      |
|                 | ○  | ○  |      |         |                 | 接頭辞や接尾辞などを入れ、派生語や複合語を作り、応用できる。       |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 伊能裕晃, 本田ゆかり, 来栖里美, 前坊香菜子 著『新完全マスター語彙日本語能力試験N3』スリーエーネットワーク、2017年  |  |      |         |                 |                                      |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容  |      |         |                 | 授業外学修指示                              |      |
|                 | 1・2  | 〈第1部〉 1・2課 人間関係1・2   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 3・4  | 3・4・5課 生活1・2・3   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 5・6  | 実力を試そう(1～5課) 6・7課 体1・2 美容、健康、病気  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 7・8  | 8・9・10課 趣味と旅行1・2・3 スポーツ、芸術、ファッション、旅行   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 9・10   | 実力を試そう(6～10課)、11・12課 教育1・2 学校生活  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 11・12  | 13・14課 仕事1・2 実力を試そう(11～14課)  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 13・14  | 15・16・17課 社会 1・2・3   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 15・16  | 18・19課 自然1・2 実力を試そう(15～19課)  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 17・16  | 20・21課   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 19・20  | 〈第2部〉 1・2課 和語動詞・漢語動詞   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 21・22  | 2・3課 形容詞・副詞  |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 23・24  | 4・5課 オノマトペ   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 25・26  | 6・7課 間違いやすい漢語・言い換え類義   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 27・28  | 8課 語形成   |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 29・30  | 模擬試験 第1回・第2回   |      |         |                 | 授業内容に係る模擬試験を実施するので、復習しておくこと(2時間)     |      |
|                 | 評価方法   | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |      |         |                 |                                      |      |
|                 |  | 言語情報   | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他                                  | 評価割合 |
| 定期試験            |  | ◎  | ○    |         |                 |                                      | 50%  |
| 小テスト            |  | ◎  | ○    |         | ◎               |                                      | 50%  |
|                 |  |  |      |         |                 |                                      |      |
|                 |  |  |      |         |                 |                                      |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること  |  |      |         |                 |                                      |      |

|                 |   |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |
|-----------------|---|------------------------------------|------|---------|-------|---|------|--|-----------------|
| 科目名             | 文法Ⅲ   |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |
| 科目名(英)          | Japanese GrammarⅢ   |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |
| 単位数             | 2単位   | 時間数                                | 40時間 | 担当者     | 金子 陽平 |   |      |  |                 |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                               | 前期   | 担当者実務経験 |       |   |      |  |                 |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |
| 授業概要            | 日本語で自分の言いたいことが伝わる文を作ったり、必要な情報を的確に読み取ったりするために、文法知識は欠かせない。この授業では、日常的な話題について書かれた文章や、日常的な場面でのまとまりのある会話に使われる例文を多く使いながら、文法を学んでいく。12月のJLPTN3の合格を目指す。 |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |
| 授業形式            | 講義:   | ○                                  | 演習:  | △       | 実習:   |   | 実技:  |  | ※ 主たる方法:○ その他:△ |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                               | 運動技能 | 態度意欲    | その他   | 目標  |      |  |                 |
|                 | ○   | ○                                  |      |         |       | 大学進学や就職の際、特に読み書きで求められる文法表現が運用できる。               |      |  |                 |
|                 | ○   | ○                                  |      |         |       | 習得した文法を使い、コミュニケーションを取ることができる。                   |      |  |                 |
|                 | ○   | ○                                  |      |         |       | 文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができる。                    |      |  |                 |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 清水知子、大場理恵子、鈴木美希 著『日本語能力試験問題集 N3文法スピードマスター』有限会社 Jリサーチ出版、2018<br>松浦真理子(監修)、『日本語パワードリル N3 文法』アスク出版、2011年   |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                            |      |         |       | 授業外学修指示   |      |  |                 |
|                 | 1   | 第一話 場面1「本屋で」                       |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 2   | 第一話 場面2「本屋を出て」                     |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 3   | 第一話 場面3「喫茶店の前で」                    |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 4   | 文の文法1(第3、第4)、文の文法2(第2)、パワードリル第2回   |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 5   | 実戦練習①+FB、敬語                        |      |         |       | 間違った問題、学習項目の復習をしておくこと(1時間)                      |      |  |                 |
|                 | 6   | 文の文法1(第5、第6)、文の文法2(第3)、パワードリル第3回   |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 7   | 第二話 場面4「不動産屋で」                     |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 8   | 第二話 場面⑤「道で」                        |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 9   | 文の文法1(第7、第8)、文の文法2(第4)、パワードリル第4回   |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 10  | 第二話 場面6「不動産屋のすすめる部屋で」              |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 11  | 文の文法1(第9、第10)、文の文法2(第5)、パワードリル第5回  |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 12  | 実戦練習②+FB、副詞                        |      |         |       | 間違った問題、学習項目の復習をしておくこと(1時間)                      |      |  |                 |
|                 | 13  | 第三話 場面7「教室で」                       |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 14  | 文の文法1(第11、第12)、文の文法2(第5)、パワードリル第6回 |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 15  | 第三話 場面8「電話で」                       |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 16  | 文の文法1(第13、第14)、文の文法2(第7)、パワードリル第7回 |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 17  | 第三話 場面9「さくらの部屋で」                   |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 18  | 文の文法1(第15、第16)、文の文法2(第8)、パワードリル第8回 |      |         |       | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない語彙などは調べ、学習項目の復習をしておくこと(1時間) |      |  |                 |
|                 | 19  | 実戦練習③+FB、接続詞                       |      |         |       | 間違った問題、学習項目の復習をしておくこと(1時間)                      |      |  |                 |
|                 | 20  | 総復習                                |      |         |       | 学習項目の復習をしておくこと(2時間)                             |      |  |                 |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。                           |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |
|                 |   | 言語情報                               | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲 | その他   | 評価割合 |  |                 |
|                 | 定期試験  | ◎                                  | ○    |         |       |   | 50%  |  |                 |
|                 | 小テスト  | ◎                                  | ◎    |         | ◎     |   | 50%  |  |                 |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること   |                                    |      |         |       |   |      |  |                 |

|                 |   |                         |      |         |                 |   |      |
|-----------------|---|-------------------------|------|---------|-----------------|---|------|
| 科目名             | 日本事情  |                         |      |         |                 |   |      |
| 科目名(英)          | Study of Japanese society   |                         |      |         |                 |   |      |
| 単位数             | 1単位   | 時間数                     | 15時間 | 担当者     | 金子 陽平           |   |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                    | 前期   | 担当者実務経験 |                 |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業概要            | 日本の社会や文化について基本的な知識を身に付け、日本や日本人を理解する一助とする。自国との違いやその背景を考え、多文化理解につなげる。日本独自の文化的な活動を体験しながら学ぶ。                |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業形式            | 講義: ○   | 演習: △                   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                    | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                      |      |
|                 | ○   | ○                       |      | ○       |                 | 日本独自の文化の背景にあるものについて考え、自国の文化と比較することができる。 |      |
|                 |   |                         |      | ○       |                 | 日本独自の文化的な活動に積極的に取り組み、日常生活に関係づけることができる。  |      |
|                 | ○   | ○                       |      | ○       |                 | 考え方や視点の相違を認め、相手の意見を傾聴し、多角的に物事を見ることができる。 |      |
|                 |   |                         |      |         |                 |   |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 日本事情」プロジェクト 著『新訂版 話そう考えよう 初級 日本事情』スリーエーネットワーク、2009  |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                 |      |         |                 | 授業外学修指示                                 |      |
|                 | 1   | 今年の新語・流行語               |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 2   | 今年の新語・年賀状を書こう           |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 3   | 日本の産業構造① 第6次産業 「おひとりさま」 |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 4   | 日本の産業構造② AI             |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 5   | まとめのレポート作成              |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 6   | 陶芸                      |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 7   | 茶道                      |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 8   | 確認テスト                   |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 9   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 10  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 11  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 12  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 13  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 14  |                         |      |         |                 |   |      |
| 15              |   |                         |      |         |                 |   |      |
| 評価方法            | (1)定期試験 (2)小テストを数回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                         |      |         |                 |   |      |
|                 |   | 言語情報                    | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他                                     | 評価割合 |
|                 | 定期試験  | ○                       | ○    |         |                 |   | 50%  |
|                 | 小テスト  | ○                       | ○    |         | ○               |   | 50%  |
|                 |   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 |   |                         |      |         |                 |   |      |
| 履修上の注意          | レポートを必ず提出すること。  |                         |      |         |                 |   |      |

|                 |  |   |      |         |                          |                                    |      |
|-----------------|--|---|------|---------|--------------------------|------------------------------------|------|
| 科目名             | 聴解Ⅲ  |   |      |         |                          |                                    |      |
| 科目名(英)          | Japanese Listening Ⅲ   |   |      |         |                          |                                    |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数   | 30時間 | 担当者     | 河原田 純子                   |                                    |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期  | 前期   | 担当者実務経験 |                          |                                    |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |   |      |         |                          |                                    |      |
| 授業概要            | 日本語能力試験N1に合格できるレベルの聴解スキルとストラテジーを身につけ、聴解能力の向上、試験対策にとどまらない全般的な聴解の力をつけることを目指す。  |   |      |         |                          |                                    |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△          |                                    |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能  | 運動技能 | 態度意欲    | その他                      | 目標                                 |      |
|                 |  | ○   |      |         |                          | キーワードを聞いて、全体の内容を推測できる              |      |
|                 | ○  | ○   |      |         |                          | 設問を聞いて、必要な情報を意識して聞きとることができる        |      |
|                 |  |   |      | ○       |                          | 聞きとった話の構成、要点を絞り、大意を要約して口頭、文章で表現できる |      |
|                 |  |   |      |         |                          |                                    |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 中村かおり, 福島佐知, 友松悦子 著『新完全マスター聴解日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク, 2011   |   |      |         |                          |                                    |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容   |      |         |                          | 授業外学修指示                            |      |
|                 | 1  | 問題紹介<br>5つの形式問題出題の特徴を学ぶ   |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 2  | 音声の特徴になれる(似ている音の聞き分け・音の変化や縮約形)<br>即時応答のスキルを学ぶ(最初の文を理解する・返事を考える) |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 3  | 課題理解のスキルを学ぶ<br>即時応答のスキルを学ぶ(ドリル&ドリル聴解N1即時応答抜粋)                   |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 4  | 課題理解のスキルを学ぶ<br>即時応答のスキルを学ぶ(ドリル&ドリル聴解N1即時応答抜粋)                   |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 5  | ポイント理解のスキルを学ぶ<br>即時応答のスキルを学ぶ(必勝パターン聴解N1即時応答抜粋)                  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 6  | ポイント理解のスキルを学ぶ<br>即時応答のスキルを学ぶ(必勝パターン聴解N1即時応答抜粋)                  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 7  | 概要理解のスキルを学ぶ<br>即時応答のスキルを学ぶ(スピードマスター聴解N1即時応答抜粋)                  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 8  | 概要理解のスキルを学ぶ<br>即時応答のスキルを学ぶ(スピードマスター聴解N1即時応答抜粋)                  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 9  | 1回目模擬試験 聴解N1 FB   |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 10   | 統合理解のスキルを学ぶ<br>即時応答のスキルを学ぶ(模試と対策①②聴解N1即時応答抜粋)                   |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 11   | 新完全マスターN1聴解 巻末にある模擬試験を実施  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 12   | JLPT直前模擬試験(N1)  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 13   | N1聴解模擬試験を抜粋し、期末試験を作成<br>期末試験対策                                  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
|                 | 14   | N1聴解模擬試験を抜粋し、期末試験を作成<br>期末試験対策                                  |      |         |                          | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間)           |      |
| 15              | N1聴解模擬試験を抜粋し、期末試験を作成<br>期末試験対策   |   |      |         | 間違えた問題の聞きなおし、未知語の確認(1時間) |                                    |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テスト(総まとめテスト含む)実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |   |      |         |                          |                                    |      |
|                 |  | 言語情報  | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                    | その他                                | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)   | ○   | ○    |         |                          |                                    | 50%  |
|                 | 小テスト   | ○   | ○    |         | ○                        |                                    | 50%  |
|                 |  |   |      |         |                          |                                    |      |
|                 |  |   |      |         |                          |                                    |      |
| 履修上の注意          | 授業で配布されたプリントは、必ず復習すること   |   |      |         |                          |                                    |      |

|                 |   |                           |      |         |                 |  |      |
|-----------------|---|---------------------------|------|---------|-----------------|--|------|
| 科目名             | ディスカッション&ディベート  |                           |      |         |                 |  |      |
| 科目名(英)          | Discussion & Debate   |                           |      |         |                 |  |      |
| 単位数             | 1単位   | 時間数                       | 15時間 | 担当者     | 金子 陽平           |  |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                      | 前期   | 担当者実務経験 |                 |  |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                           |      |         |                 |  |      |
| 授業概要            | より実践的な日本語コミュニケーション能力を身に付けるためディベート形式での討論を行う。ディベートのルール、論旨の建て方、反駁の仕方などを学んだ後、講義ごとに設定されるテーマに基づいてチームに分かれてディベートを行う。  |                           |      |         |                 |  |      |
| 授業形式            | 講義: ○   | 演習: △                     | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |  |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                      | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標   |      |
|                 | ○   | ○                         |      |         |                 | 身近なトピックでの討論の場において、自らの考えを整理し論理性と説得力をもって述べるができる。 |      |
|                 |   |                           | ○    |         |                 | 相手の意見にうまく賛成や反対の意思を伝えることで、円滑に討論・ディベートを行うことができる。 |      |
|                 |   |                           |      |         |                 |  |      |
|                 |   |                           |      |         |                 |  |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | なし  |                           |      |         |                 |  |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                   |      |         |                 | 授業外学修指示  |      |
|                 | 1   | 授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて |      |         |                 | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)                         |      |
|                 | 2   | 意見展開・情報収集について             |      |         |                 | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)                         |      |
|                 | 3   | 質問・反駁のしかたについて             |      |         |                 | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)                         |      |
|                 | 4   | ディスカッション実践「日本の文化・習慣」      |      |         |                 | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)                         |      |
|                 | 5   | ディスカッション実践「大切なもの」         |      |         |                 | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)                         |      |
|                 | 6   | ディベート実践「教育」               |      |         |                 | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)                         |      |
|                 | 7   | ディベート実践「働き方」              |      |         |                 | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間)                         |      |
|                 | 8   | ディベート実践「科学技術」             |      |         |                 | 振り返りレポートの作成(2時間)                               |      |
|                 | 9   |                           |      |         |                 |  |      |
|                 | 10  |                           |      |         |                 |  |      |
|                 | 11  |                           |      |         |                 |  |      |
|                 | 12  |                           |      |         |                 |  |      |
|                 | 13  |                           |      |         |                 |  |      |
|                 | 14  |                           |      |         |                 |  |      |
| 15              |   |                           |      |         |                 |  |      |
| 評価方法            | (1) 課題をこなし、準備の上、各回の講義に臨んでいるか(50%)、(2) 各回の講義で積極的に討論・ディベートに参加し、講義中に紹介される表現技法を用いて効果的に発言できているか(50%)、の2点により評価する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                           |      |         |                 |  |      |
|                 |   | 言語情報                      | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他  | 評価割合 |
|                 | 事前準備  | ○                         | ○    |         |                 |  | 50%  |
|                 | 参加・発言   |                           |      |         | ○               |  | 50%  |
|                 |   |                           |      |         |                 |  |      |
|                 |   |                           |      |         |                 |  |      |
| 履修上の注意          | 事前準備をしっかりし、積極的に討論・ディベートに参加すること。   |                           |      |         |                 |  |      |



|                 |   |                        |      |                                 |   |     |      |
|-----------------|---|------------------------|------|---------------------------------|---|-----|------|
| 科目名             | 日本語試験対策B  |                        |      |                                 |   |     |      |
| 科目名(英)          | Strategy for paasing JLPT B   |                        |      |                                 |   |     |      |
| 単位数             | 2単位   | 時間数                    | 40時間 | 担当者                             | 金子 陽平                                   |     |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                   | 前期   | 担当者実務経験                         |   |     |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                        |      |                                 |   |     |      |
| 授業概要            | 能力試験の問題(文字・語彙・文法)を数多く解き、問題の形式に慣れ、N3に合格できるスキルとストラテジーを学び、N3合格を目指す。  |                        |      |                                 |   |     |      |
| 授業形式            | 講義: ○   | 演習: △                  | 実習:  | 実技:                             | ※ 主たる方法:○ その他:△                         |     |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                   | 運動技能 | 態度意欲                            | その他                                     |     |      |
|                 | ○   | ○                      |      |                                 | 日常生活でよく目にする漢字で書かれた語を読むことができる。           |     |      |
|                 | ○   | ○                      |      |                                 | 出題語が文の中でどのように使われるのかを判断することができる。         |     |      |
|                 | ○   | ○                      |      |                                 | 文の内容に合った文法形式かどうかを見極め、適当な答えが選択できる。       |     |      |
|                 | ○   | ○                      |      |                                 | 文章の流れに合った文かどうかを判断し、適当な答えが選択できる。         |     |      |
|                 |   |                        | ○    | 試験に関して自己管理(時間配分・スケジュールリング)ができる。 |   |     |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 日本語能力試験問題研究会 著『日本語能力試験 直前対策N3文字・語彙・文法』 国書刊行会 2012   |                        |      |                                 |   |     |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                |      |                                 | 授業外学修指示                                 |     |      |
|                 | 1   | 第1回 教科書説明／解き方／宿題の取り組み方 |      |                                 | 第2回を必ず自分で解いて、答え合わせまでして<br>くること          |     |      |
|                 | 2   | 第1・2回 説明FB・要点整理①       |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 3   | 第1・2回 説明FB・要点整理②       |      |                                 | 第3・4回を必ず自分で解いて、答え合わせまでして<br>くること(1時間)   |     |      |
|                 | 4   | 第3・4回 説明FB・要点整理①       |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 5   | 第3・4回 説明FB・要点整理②       |      |                                 | 第5・6回を必ず自分で解いて、答え合わせまでして<br>くること(1時間)   |     |      |
|                 | 6   | 第5・6回 説明FB・要点整理①       |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 7   | 第5・6回 説明FB・要点整理②       |      |                                 | 第7・8回を必ず自分で解いて、答え合わせまでして<br>くること(1時間)   |     |      |
|                 | 8   | 第7・8回 説明FB・要点整理①       |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 9   | 第7・8回 説明FB・要点整理②       |      |                                 | 第9・10回を必ず自分で解いて、答え合わせまでし<br>てくること(1時間)  |     |      |
|                 | 10  | 第9・10回 説明FB・要点整理①      |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 11  | 第9・10回 説明FB・要点整理②      |      |                                 | 第11・12回を必ず自分で解いて、答え合わせまでし<br>てくること(1時間) |     |      |
|                 | 12  | 第11・12回 説明FB・要点整理①     |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 13  | 第11・12回 説明FB・要点整理②     |      |                                 | 第13・14回を必ず自分で解いて、答え合わせまでし<br>てくること(1時間) |     |      |
|                 | 14  | 第13・14回 説明FB・要点整理①     |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 15  | 第13・14回 説明FB・要点整理②     |      |                                 | 第15回を必ず自分で解いて、答え合わせまでして<br>くること(1時間)    |     |      |
|                 | 16  | 第15回 説明FB・要点整理①        |      |                                 | 間違えた箇所の復習(1時間)                          |     |      |
|                 | 17  | 第15回 説明FB・要点整理②        |      |                                 | 第1-15回までの間違えた問題を復習すること<br>(2時間)         |     |      |
|                 | 18  | 第1回～8回 総復習             |      |                                 | 確認テストの予習をしてくること(2時間)                    |     |      |
|                 | 19  | 第9回～15回 総復習            |      |                                 | 確認テストの予習をしてくること(2時間)                    |     |      |
| 20              | 総復習(確認テスト)  |                        |      | 間違えた箇所の復習(1時間)                  |   |     |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                        |      |                                 |   |     |      |
|                 |   | 言語情報                   | 知的技能 | 運動技能                            | 態度・意欲                                   | その他 | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)  | ○                      | ◎    |                                 | ◎                                       |     | 50%  |
|                 | 小テスト  |                        | ◎    |                                 | ◎                                       |     | 50%  |
|                 |   |                        |      |                                 |   |     |      |
|                 |   |                        |      |                                 |   |     |      |
| 履修上の注意          | 宿題を必ずすること。  |                        |      |                                 |   |     |      |

|                 |  |                  |      |         |                  |                         |      |
|-----------------|--|------------------|------|---------|------------------|-------------------------|------|
| 科目名             | 作文   |                  |      |         |                  |                         |      |
| 科目名(英)          | Japanese Writing   |                  |      |         |                  |                         |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数              | 30時間 | 担当者     | 河原田 純子           |                         |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期             | 前期   | 担当者実務経験 |                  |                         |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |                  |      |         |                  |                         |      |
| 授業概要            | 学んだ表現を使って書き言葉で作文を書くことができる。さらに、書いたことを口頭で分かりやすく紹介できる。自分の意見を裏付ける根拠となることを分かりやすく伝える力を身につけ、書くことができる。               |                  |      |         |                  |                         |      |
| 授業形式            | 講義: △  | 演習: ○            | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△  |                         |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能             | 運動技能 | 態度意欲    | その他              | 目標                      |      |
|                 | ○  | ○                |      | ○       |                  | 必要な語彙や表現を正しく使用することができる  |      |
|                 | ○  | ○                |      | ○       |                  | 自分の意見を分かりやすく伝え、書くことができる |      |
|                 |  |                  |      |         |                  |                         |      |
|                 |  |                  |      |         |                  |                         |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | C&P日本語教育・教材研究会(著)『日本語作文I-身近なトピックによる表現練習』専門教育出版、2001年   |                  |      |         |                  |                         |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容          |      |         |                  | 授業外学修指示                 |      |
|                 | 1  | 授業概要説明 日本語を学ぶ理由① |      |         |                  | テーマの作文を作成する(1時間)        |      |
|                 | 2  | 日本語を学ぶ理由②        |      |         |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間)        |      |
|                 | 3  | 紹介したい有名人①        |      |         |                  | テーマの作文を作成する(1時間)        |      |
|                 | 4  | 紹介したい有名人②        |      |         |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間)        |      |
|                 | 5  | 国との比較 学校・教育①     |      |         |                  | テーマの作文を作成する(1時間)        |      |
|                 | 6  | 国との比較 学校・教育②     |      |         |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間)        |      |
|                 | 7  | 国との比較 家族・結婚観①    |      |         |                  | テーマの作文を作成する(1時間)        |      |
|                 | 8  | 国との比較 家族・結婚観②    |      |         |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間)        |      |
|                 | 9  | 暮らし方・生き方 テーマ選択①  |      |         |                  | テーマの作文を作成する(1時間)        |      |
|                 | 10   | 暮らし方・生き方 テーマ選択②  |      |         |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間)        |      |
|                 | 11   | 将来の計画①           |      |         |                  | テーマの作文を作成する(1時間)        |      |
|                 | 12   | 将来の計画②           |      |         |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間)        |      |
|                 | 13   | 留学生活で学んだこと①      |      |         |                  | テーマの作文を作成する(1時間)        |      |
|                 | 14   | 留学生活で学んだこと②      |      |         |                  | 作文の完成 発表の練習(1時間)        |      |
| 15              | 留学生活で学んだこと③  |                  |      |         | 作文の完成 発表の練習(1時間) |                         |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)グループワーク時の発言以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                  |      |         |                  |                         |      |
|                 |  | 言語情報             | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲            | その他                     | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)   | ○                | ○    |         | ○                |                         | 50%  |
|                 | グループワーク時の発言  |                  | ○    |         | ○                |                         | 50%  |
|                 |  |                  |      |         |                  |                         |      |
| 履修上の注意          | レポートや宿題は、必ず期限内に提出して下さい。  |                  |      |         |                  |                         |      |

|                 |  |                     |      |         |                 |   |      |
|-----------------|--|---------------------|------|---------|-----------------|---|------|
| 科目名             | 読解Ⅲ  |                     |      |         |                 |   |      |
| 科目名(英)          | Japanese Reading Ⅲ   |                     |      |         |                 |   |      |
| 単位数             | 2単位  | 時間数                 | 30時間 | 担当者     | 河原田 純子          |   |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期                | 前期   | 担当者実務経験 |                 |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |                     |      |         |                 |   |      |
| 授業概要            | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語能力試験N1で取り上げられる幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的や複雑な文章や抽象度の高い文章などを取り上げ、文章の構成や内容を説明できる。</li> <li>さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現・意図を理解し、述べるができる。</li> <li>問題の解き方の基本スキルを身につけ、時間内に効率よく正解できる。</li> </ul> |                     |      |         |                 |   |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △               | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能                | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                      |      |
|                 | ○  |                     |      |         |                 | N1レベルの文章を正確に説明することができる                  |      |
|                 |  | ○                   |      |         |                 | 授業で扱ったテーマの内容について、自分の体験や考えを論理的に述べるができる   |      |
|                 | ○  | ○                   |      | ○       |                 | あるテーマについての考えを論理的に作文を書くことができる            |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 松岡 龍美 著『絶対合格！日本語能力試験 徹底トレーニング N1 読解』アスク出版、2012年  |                     |      |         |                 |   |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容             |      |         |                 | 授業外学修指示                                 |      |
|                 | 1  | 読解の基本について           |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 2  | 内容理解(短文)            |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 3  | 内容理解(中文)            |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 4  | 内容理解(長文)・主張理解       |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 5  | 統合理解                |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 6  | 情報検索                |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 7  | 短文(縦書き・ビジネス文書) 情報検索 |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 8  | 中文・統合理解・情報検索        |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 9  | 長文・統合理解・情報検索        |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 10   | 実践問題                |      |         |                 | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)    |      |
|                 | 11   | N1読解総復習             |      |         |                 | 配布プリントの該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 12   | N1読解総復習             |      |         |                 | 配布プリントの該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 13   | N1読解総復習             |      |         |                 | 配布プリントの該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 14   | N1読解総復習             |      |         |                 | 配布プリントの該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
|                 | 15   | 期末試験対策              |      |         |                 | 配布プリントの該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。   |                     |      |         |                 |   |      |
|                 |  | 言語情報                | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他                                     | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)   | ◎                   | ○    |         |                 |   | 50%  |
|                 | 小テスト   | ◎                   | ◎    |         | ◎               |   | 50%  |
|                 |  |                     |      |         |                 |   |      |
|                 |  |                     |      |         |                 |   |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること  |                     |      |         |                 |   |      |

| 科目名             | 文字語彙Ⅲ  |   |      |         |                                      |                                     |     |      |
|-----------------|--|---|------|---------|--------------------------------------|-------------------------------------|-----|------|
| 科目名(英)          | Japanese characters and vocabularyⅢ  |   |      |         |                                      |                                     |     |      |
| 単位数             | 4単位  | 時間数   | 60時間 | 担当者     | 河原田 純子                               |                                     |     |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期  | 前期   | 担当者実務経験 |                                      |                                     |     |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |   |      |         |                                      |                                     |     |      |
| 授業概要            | 授業前半は、日常生活に役立つN1レベルの語彙を学び、語彙を増やすことを目標に授業を進める。後半は、日本語能力試験N1(言語知識)文字語彙パートの出題形式に合わせたテキストを使用し、多くの練習問題を解く中で、漢字の読み書きが正しくできる力、語彙力を強化し、N1合格を目指す。 |   |      |         |                                      |                                     |     |      |
| 授業形式            | 講義: ○  | 演習: △   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△                      |                                     |     |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能  | 運動技能 | 態度意欲    | その他                                  | 目標                                  |     |      |
|                 | ○  | ○   |      |         |                                      | 前後の文脈に合う語彙を、正しく使うことができる。            |     |      |
|                 | ○  |   |      |         |                                      | ひとつの語を同じ、または意味の近い他の表現に置き換えることができる。  |     |      |
|                 | ○  | ○   |      | ○       |                                      | N1レベルの語彙が、文中で正しく使われているかを判断することができる。 |     |      |
|                 | ○  | ○   |      |         |                                      | N1レベルの漢字語彙に適切な接頭辞や接尾辞をつけることができる。    |     |      |
|                 | ○  |   |      |         |                                      | N1レベルの漢字の読み書きが正しくできる。               |     |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | ・松浦 真理子、鈴木 健司 監修 アスク出版編集部 著『日本語バードリルN1文字・語彙』アスク出版、2010年<br>・佐々木 仁子(著)、松本 紀子(著) 『日本語総まとめ N1 語彙(「日本語能力試験」対策)』アスク出版、2010                    |   |      |         |                                      |                                     |     |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容   |      |         | 授業外学修指示                              |                                     |     |      |
|                 | 1・2  | 「日本語総まとめN1語彙」第1週 いろいろ表現しよう① (1日目～4日目)<br>第1週 いろいろ表現しよう① (5日目～7日目)   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 3・4  | 第2週 いろいろ表現しよう②  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 5・6  | 第3週 副詞をじっくり学習しよう  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 7・8  | 第4週 初級漢字の語彙を覚えよう  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 9・10   | 第5週 中級漢字の語彙を覚えよう  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 11・12  | 第6週 意味が多い言葉を覚えよう  |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 13・14  | 第7週 まとめて覚えよう①   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 15・16  | 第8週 まとめて覚えよう②   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 17・16  | 「日本語バードリルN1文字・語彙」(第1回、2回、3回)<br>第4回、5回、集中トレーニング①②   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 19・20  | 第6回、7回、8回<br>第9回、10回、集中トレーニング③④   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 21・22  | 第11回、12回、13回<br>第14回、15回、集中トレーニング⑤⑥   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 23・24  | 第16回、17回、18回<br>第19回、20回、集中トレーニング⑦⑧   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 25・26  | 第21回、22回、23回<br>第24回、25回、集中トレーニング⑨⑩   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 27・28  | 第26回、27回、28回<br>第29回、30回、集中トレーニング⑪⑫   |      |         | 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間) |                                     |     |      |
|                 | 29・30  | 後期試験対策総復習問題①②   |      |         | 授業内容に係る模擬試験を実施するので、復習しておくこと(2時間)     |                                     |     |      |
|                 | 評価方法   | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を毎回、レポートを数回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |      |         |                                      |                                     |     |      |
|                 |  |   | 言語情報 | 知的技能    | 運動技能                                 | 態度・意欲                               | その他 | 評価割合 |
|                 |  | 定期試験(筆記)  | ○    | ○       |                                      |                                     |     | 50%  |
| 宿題・レポート         |  | ○   | ○    |         | ○                                    |                                     | 50% |      |
|                 |  |   |      |         |                                      |                                     |     |      |
|                 |  |   |      |         |                                      |                                     |     |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙の宿題を必ずしてくること。   |   |      |         |                                      |                                     |     |      |

| 科目名             | 文法Ⅲ   |  |      |         |   |                                   |      |
|-----------------|---|--|------|---------|---|-----------------------------------|------|
| 科目名(英)          | Japanese Grammar Ⅲ  |  |      |         |   |                                   |      |
| 単位数             | 2単位   | 時間数  | 40時間 | 担当者     | 河原田 純子                                    |                                   |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期   | 前期   | 担当者実務経験 |   |                                   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |  |      |         |   |                                   |      |
| 授業概要            | 日本語能力試験N1の文法問題で必要とされるレベルの文法項目を学習し、実際の試験に合格できる力を養う。日本で就職し、生活していくことを見据え、その基盤となる日本語力を向上させると同時に、企業で求められる日本語能力試験のN1に高得点で合格できる日本語力をつけることを目指す。 |  |      |         |   |                                   |      |
| 授業形式            | 講義: ○   | 演習: △  | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△                           |                                   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能   | 運動技能 | 態度意欲    | その他                                       |                                   |      |
|                 | ○   | ○  |      |         | 文の内容にあった文法形式を使って複文を作ることができる               |                                   |      |
|                 | ○   | ○  |      |         | N1レベルの文法項目を使って、統語的に正しく意味が通る文章を組み立てることができる |                                   |      |
|                 |   |  | ○    |         | N1レベルの文法を使って、コミュニケーションをとることができる           |                                   |      |
|                 |   |  |      |         |   |                                   |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 佐々木仁子、松本紀子 著『日本語総まとめ N1 文法 (『日本語能力試験』対策)』アスク出版、2010年  |  |      |         |   |                                   |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容  |      |         |   | 授業外学修指示                           |      |
|                 | 1   | 日本語総まとめN1 第1週 1日目「こそ」を使った表現 2日目「くらい」「もの」を使った表現、3日目「こと」を使った表現   |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 2   | 日本語総まとめN1 第1週4日目 文末表現(受身、使役受身文)使役の表現、5日目「みる」「みられる」「する」を使った表現 6日目「ところ」を使った表現                                |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 3   | 日本語総まとめN1 第2週 1日目「なり」を使った表現 2日目「であれ」、「意志形+が」「どんなに～か」、3日目「というか」、「まい」、「にせよ」を使った表現                            |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 4   | 日本語総まとめN1 第2週 4日目 例示表現「だの」「いい」「AがAなら、BもB」 5日目「ては」、「つ」を使った反復表現 6日目「とも」「～たら～たて」のや                            |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 5   | 復習第1週～第2週  |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 6   | 日本語総まとめN1 第3週 1日目「まで」を使った表現 2日目「限り」を使った表現 3日目「とは」「とはいえ」「といえども」「との」   |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 7   | 日本語総まとめN1 第3週 4日目「～皮切りに」「をもって」「というもの」を使って期日を表す表現 5日目「やいなや」「が早いか」「たが最後」時期を示す表現と                             |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 8   | 日本語総まとめN1 第4週 1日目「なくして～はない」「なしに～ない」「ともなく」「～は～ものを」 2日目「すら」「にして」「ともあろう(者)」が、「ともなると」 3日                       |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 9   | 日本語総まとめN1 第4週 4日目「とあって」「とあれば」「にあって」「あつての」5日目「からする」「たりとも」「なりとも」「ならでは」 6日目 文末表現(否定                           |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 10  | 復習第3週～第4週  |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 11  | 日本語総まとめN1 第5週 1日目 文末表現(否定形)(ずにする、ずにする、ずにはおかない、ずにはおかない) 2日目 文末表現(否定形)(そうもな                                  |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 12  | 日本語総まとめN1 第5週 4日目「至る」「いかに」を使った表現 5日目「にやらず」「ことどまらず」と相まって」 6日目「べき」を使った表現                                     |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 13  | 日本語総まとめN1 第6週 1日目「先駆けて」「にもまして」「にひきかえ」「に即して」 2日目「つもりで」「まさに」「ずとも」「ずじまい」 3日目「ながらに」「な                          |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 14  | 日本語総まとめN1 第6週 4日目「ゆえに」「んがために」「んばかりに」「とばかり」 5日目「を置いてほかには」「をよそに」「を経て」「～と～を兼ねて」 6                             |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 15  | 復習第5～第6週   |      |         |   | 間違えた問題をチェックして正しい使い方を覚えること。(1時間)   |      |
|                 | 16  | 日本語総まとめN1 第7週 1日目「～に」「～や」「～という」 2日目「にして」「もしないで」「だに」「こととて」 3日目「～めく」「～びる」「～ぶる」「～ぶり」                          |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 17  | 日本語総まとめN1 第7週4日目文末表現「に耐える」「に堪えない」「に足る」「に足りない」 5日目 文末表現「～みせる」「～もなんともない」「といつたらない」「～りやしない」 6日目 否定形を使った表現「～ざ   |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 18  | 日本語総まとめN1 第8週 1日目「はさておき」「はどうであれ」「はおろか」「ならいざしらず」 2日目 文末表現「にはあたらない」「に堪くない」「でやまない」「ではくてなんだろう」 3日目 文末表現(否定形)「で |      |         |   | テキスト内の語彙の予習、復習<br>学習項目の文法の復習(1時間) |      |
|                 | 19  | 日本語総まとめN1 第8週4日目 文末表現「を禁じえない」、「を余儀なくされた」「嫌いがある」「始末だ」 5日目 強調した表現「極まる」「極まりない」「～の極み」「～の至り」 6日目「～かれ、～かれ」「～につ   |      |         |   | 間違えた問題をチェックして正しい使い方を覚えること。(1時間)   |      |
|                 | 20  | 復習第7～第8週   |      |         |   | 間違えた問題をチェックして正しい使い方を覚えること         |      |
| 評価方法            | (1)各回小テストを実施 (2)定期試験(筆記)を実施<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。                            |  |      |         |   |                                   |      |
|                 |   | 言語情報   | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                                     | その他                               | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)  | ○  | ○    |         |   |                                   | 50%  |
| 小テスト            | ○   | ○  |      | ○       |   | 50%                               |      |
| 履修上の注意          | 授業前に、新出語彙を必ず調べてくること   |  |      |         |   |                                   |      |

|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
|-----------------|--|-------------------------|------|---------|-----------------|---|------|
| 科目名             | 日本事情   |                         |      |         |                 |   |      |
| 科目名(英)          | Study of Japanese society  |                         |      |         |                 |   |      |
| 単位数             | 1単位  | 時間数                     | 15時間 | 担当者     | 河原田 純子          |   |      |
| 実施年度            | 2020年度   | 実施時期                    | 前期   | 担当者実務経験 |                 |   |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年  |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業概要            | 日本の社会や文化について基本的な知識を身に付け、日本や日本人を理解する一助とする。自国との違いやその背景を考え、多文化理解につなげる。日本独自の文化的な活動を体験しながら学ぶ。                               |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業形式            | 講義: △  | 演習: ○                   | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△ |   |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報   | 知的技能                    | 運動技能 | 態度意欲    | その他             | 目標                                      |      |
|                 | ○  | ○                       |      |         |                 | 日本独自の文化の背景にあるものについて考えることができる。           |      |
|                 | ○  | ○                       |      | ○       |                 | 日本独自の文化的な活動に積極的に取り組むことができる。             |      |
|                 | ○  | ○                       |      | ○       |                 | 考え方や視点の相違を認め、相手の意見を傾聴し、多角的に物事を見ることができる。 |      |
|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | 日本事情」プロジェクト 著『新訂版 話そう考えよう 初級 日本事情』スリーエーネットワーク、2009年  |                         |      |         |                 |   |      |
| 授業計画            | 回数   | 授業項目・内容                 |      |         |                 | 授業外学修指示                                 |      |
|                 | 1  | 今年の新語・流行語               |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 2  | 今年 of 漢字・年賀状を書こう        |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 3  | 日本の産業構造① 第6次産業 「おひとりさま」 |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 4  | 日本の産業構造② AI             |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 5  | まとめのレポート作成              |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 6  | 陶芸                      |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 7  | 茶道                      |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 8  | 確認テスト(総復習)              |      |         |                 | 宿題レポートを仕上げること(1時間)                      |      |
|                 | 9  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 10   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 11   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 12   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 13   |                         |      |         |                 |   |      |
|                 | 14   |                         |      |         |                 |   |      |
| 15              |  |                         |      |         |                 |   |      |
| 評価方法            | (1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを数回実施する。<br>以上を下記の観点・割合で評価する。<br>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                         |      |         |                 |   |      |
|                 |  | 言語情報                    | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲           | その他                                     | 評価割合 |
|                 | 定期試験(筆記)   | ○                       | ○    |         |                 |   | 50%  |
|                 | 小テスト   | ○                       | ○    |         | ○               |   | 50%  |
|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
|                 |  |                         |      |         |                 |   |      |
| 履修上の注意          | 提出物を必ず提出すること   |                         |      |         |                 |   |      |

|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
|-----------------|---|---------------------------|------|---------|------------------------|--|------|
| 科目名             | ディスカッション&ディベート  |                           |      |         |                        |  |      |
| 科目名(英)          | Discussion & Debate   |                           |      |         |                        |  |      |
| 単位数             | 1単位   | 時間数                       | 15時間 | 担当者     | 河原田 純子                 |  |      |
| 実施年度            | 2020年度  | 実施時期                      | 前期   | 担当者実務経験 |                        |  |      |
| 対象学科・学年         | 日本語科(1年6か月)2年   |                           |      |         |                        |  |      |
| 授業概要            | より実践的な日本語コミュニケーション能力を身に付けるためディベート形式での討論を行う。ディベートのルール、論旨の建て方、反撃の仕方などを学んだ後、講義ごとに設定されるテーマに基づいて、チームに分かれてディベートを行う。   |                           |      |         |                        |  |      |
| 授業形式            | 講義: △   | 演習: ○                     | 実習:  | 実技:     | ※ 主たる方法:○ その他:△        |  |      |
| 学習目標<br>(到達目標)  | 言語情報  | 知的技能                      | 運動技能 | 態度意欲    | その他                    | 目標   |      |
|                 | ○   | ○                         |      | ○       |                        | 身近なトピックでの討論の場において、自らの考えを整理し論理性と説得力をもって表明できる。   |      |
|                 | ○   | ○                         |      | ○       |                        | 相手の意見にうまく賛成や反対の意思を伝えることで、円滑に討論・ディベートを行うことができる。 |      |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
| テキスト・教材<br>参考図書 | オリジナルテキスト   |                           |      |         |                        |  |      |
| 授業計画            | 回数  | 授業項目・内容                   |      |         | 授業外学修指示                |  |      |
|                 | 1   | 授業概要説明、ディベート・ディスカッションについて |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 2   | 意見展開・情報収集について             |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 3   | 質問・反駁のしかたについて             |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 4   | ディスカッション実践「日本の文化・習慣」      |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 5   | ディスカッション実践「大切なもの」         |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 6   | ディベート実践「教育」               |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 7   | ディベート実践「働き方」              |      |         | 次回の事前準備・情報収集をすること(1時間) |  |      |
|                 | 8   | ディベート実践「科学技術」             |      |         | 振り返りレポートの作成(2時間)       |  |      |
|                 | 9   |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 10  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 11  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 12  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 13  |                           |      |         |                        |  |      |
|                 | 14  |                           |      |         |                        |  |      |
| 15              |   |                           |      |         |                        |  |      |
| 評価方法            | (1) 課題をこなし、準備の上、各回の講義に臨んでいるか(50%)、(2) 各回の講義で積極的に討論・ディベートに参加し、講義中に紹介される表現技法を用いて効果的に発言できているか(50%)、の2点により評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |                           |      |         |                        |  |      |
|                 |   | 言語情報                      | 知的技能 | 運動技能    | 態度・意欲                  | その他  | 評価割合 |
|                 | 事前準備  | ○                         | ○    |         |                        |  | 50%  |
|                 | 参加・発言   |                           |      |         | ○                      |  | 50%  |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
|                 |   |                           |      |         |                        |  |      |
| 履修上の注意          | 積極的に発話するように心掛けて下さい。   |                           |      |         |                        |  |      |